令和４年度

若年者建設業担い手育成支援事業
報告書

一般社団法人 栃木県建設業協会

目　　次

1　はじめに …… 1

2　全体の概要 …… 3

（1）事業の名称 …… 3

（2）事業の目的及び内容 …… 3

（3）事業の実施体制 …… 3

（4）実施スケジュール …… 3

（5）事業の効果 …… 3

3　実施計画書・実施報告書

（1）栃木県立宇都宮工業高等学校　環境土木科・建築デザイン科 …… 4

（2）栃木県立那須清峰高等学校　建設工学科（土木・建築コース） …… 10

（3）栃木県立真岡工業高等学校　建設科　（土木・建築コース） …… 16

（4）栃木県立今市工業高等学校　建設工学科（土木・建築コース） …… 22

（5）栃木県立小山北桜高等学校　建築システム科 …… 27

（6）栃木県立栃木農業高等学校　環境デザイン科 …… 30

4　令和4年度若年者建設業担い手育成支援事業アンケート集計結果 …… 33

5　まとめ …… 80

1 はじめに

一般社団法人栃木県建設業協会

会　長　谷　黒　克　守

近年の建設業界は、少子高齢化の進展に伴い、団塊世代の就業者の高齢化や若手就業者の入職率の低下が進んでおり「技術・技能」の伝承など、建設業の次世代を担う人材の確保・育成が喫緊の課題となっております。

このような状況の中、一般社団法人栃木県建設業協会では、栃木県教育委員会や栃木県高等学校教育研究会工業部会と連携して、平成15年度から土木建築系の高校生を対象とした「インターンシップ事業」に取り組んでおり、建設現場等における就業体験を通し、実務的な知識や技術・技能に触れることにより、学習意欲の喚起や主体的な職業選択能力の向上に努めて参りました。

また、平成20年度から 3 年間は、全国で 2 県、栃木県内工業高等学校 3 校がモデル校として、国土交通省の「建設人材確保・育成モデル事業」（文部科学省では、「地域産業の担い手育成プロジェクト」）の採択を得て、工業高等学校ならではの特徴ある取り組みにより、国をはじめ多くの関係機関から高い評価を得たところであります。このことは、ひとえに関係機関の皆様と実施高等学校の先生方の熱意の賜物と考えております。

当協会といたしましては、「若年者の建設業担い手育成」は重要な課題であり、今後とも継続して各種事業に取り組んで参りますので、関係機関の皆様の更なる御支援・御協力をお願い申し上げます。

2 全体の概要

1　事業の名称　　若年者建設業担い手育成支援事業

2　事業の目的及び内容

　建設産業では就業者の高齢化や若年就業者の入職率・定着率の低下に伴い、技術・技能の伝承が困難な状況になることが予想されることから、将来を担う人材確保・育成が喫緊の課題となっている。そこで、高校生を対象に、より実践的な授業を展開することで職業選択能力及び就業意欲の向上を図ることを目的として下記の事業等を実施した。

記

○　体験型出前講座
○　舗装工事体験実習
○　学校修繕、家具の製作実習
○　外壁施工実習
○　専門工事業による実習体験
○　工事現場見学会

3　事業の実施体制

（1）一般社団法人栃木県建設業協会
（2）栃木県
（3）東日本建設業保証株式会社
（4）栃木県立宇都宮工業高等学校
（5）栃木県立那須清峰高等学校
（6）栃木県立真岡工業高等学校
（7）栃木県立今市工業高等学校
（8）栃木県立小山北桜高等学校
（9）栃木県立栃木農業高等学校

4　事業スケジュール

令和4年4月　～　令和5年2月

5　事業の効果

　建設産業に対する理解を深めるとともに、学習意欲を高め、主体的な職業選択能力や職業意識の向上を図ることができた。

3 実施計画書・実施報告書

栃木県立宇都宮工業高等学校　環境土木科

実　施　計　画　書

1　事業の名称
・「体験型出前講座」

2　事業の目的
・学習活用の一環として、実際の建設現場における建設技術を見学・体験し、ものづくりへの興味・関心を高めるとともに職業観の育成を図る。

3　事業の内容
（１）現場代理人の業務内容を理解する。
（２）土木技術者から直接指導を受ける。
（３）最新の建設技術に触れる。
（４）２級土木施工管理技術検定第１次検定に挑戦する。

4　事業の実施体制
対象生徒：環境土木科２年生　40名
講　　師：一般社団法人宇都宮建設業協会（宇都宮建設業青年の会）
指 導 者：環境土木科教員

5　実施スケジュール
（１）体験型出前講座
・１１月中の１～２日
（２）２級土木施工管理技術検定第１次検定の学習
・４月～10月

6　事業の効果
・最新の土木技術を実際に体験することにより、建設業に対する興味・関心が高まり、土木施工に関する専門知識の理解をさらに深めることができる。

実　施　報　告　書

学 校 名	栃木県立宇都宮工業高等学校	科　　名	環境土木科	学　年	2 年
参加生徒	環境土木科　2 年　40名				
担当教員	環境土木科　職員 7 名（代表　倉持　正行）				
実施時期・期間	令和 5 年 2 月15日（水）	教育課程上の位置づけ	土木実習		
協力企業名	企業名	宇都宮建設業青年の会			
	所在地	宇都宮市簗瀬町1958- 1			
	電　話	028-636-5221	担 当 者	社会貢献委員長　亀和田　辰紀	
実践的技術指導のねらい	現場の実践的な知識や技術・技能に触れることで建設産業を理解し、ものづくりへの興味・関心を高めるとともに職業観の育成を図る。				
実践的指導の内容	1．釜川放水路現場見学 2．現場監督の仕事についての講話 3．アスファルト舗装工事実習				
実践的指導の成果	・釜川放水路の現場を見学し、放水路の現状や役割、地下河川耐震化工事について理解することができた。 ・現場の雰囲気を知り、建設業の魅力や役割について理解を深めることができた。 ・建設業界の現状や将来の展望など現場の視点から講話をいただき、建設業界が抱える課題や今後の動向について理解をすることができた。 ・工事現場における現場代理人の役割や仕事内容などについて実例を挙げて説明していただき、仕事のやりがいを感じることができた。 ・仮設工事からアスファルト舗装工事までの一連の作業を体験し、作業工程を理解することができた。 ・技術者の指導を受け、建設機械の安全な操作方法を理解し、実際に操作を体験することができた。 ・作業ごとにＫＹ活動を実施していただき、安全に対する意識が高まった。 ・アスファルト舗装工事を体験し、ものづくりの楽しさや達成感、チームワークの大切さを実感できた。				
使用設備・使用機器・材料等	バックホウ、ハンドガイドローラー、プレートコンパクター、コンクリートカッター、角スコップ、レーキ、アスファルト混合物　など				

【報告書】
○生徒の感想
・釜川放水路の現場見学では、治水対策として、このような水路が地下にあることに驚いたが、災害に備えた重要な施設であることが分かった。
・講話では、現場代理人の業務について具体例を交えて説明していただき、業務内容を理解することができた。講話をとおして、土木の仕事の魅力を感じ、社会において重要性が高い職業だと思った。
・アスファルト舗装工事実習では、仮設工事をとおして現場の安全管理の重要性を理解することができた。また、実際に作業をしたことで、アスファルト舗装工事の作業方法や手順を理解することができた。
・アスファルト舗装が完成していくにつれて達成感ややりがいを感じることができた。形に残る実習ができて良かった。

○実習風景

開講式

釜川放水路現場見学

現場代理人の業務についての講話

仮設工事体験

アスファルト舗装工事体験①

アスファルト舗装工事体験②

開放温度の確認

閉講式

実習指導後の感想等	見学では市街地の浸水被害を防止していることを実感してもらい、座学、実習では形に残るものという土木の魅力を、難しい内容もあったとは思いますが、楽しみながら学んでくれたと感じました。 今回の実習が将来の進路選択の一つの助けになればと思います。ありがとうございました。
実習指導者	宇都宮建設業青年の会　社会貢献委員長　亀和田　辰紀

栃木県立宇都宮工業高等学校　建築デザイン科

実　施　計　画　書

1　事業の名称

・「体験型出前講座」

2　事業の目的

・学習活用の一環として、実際の建設現場における建設技術を見学・体験し、ものづくりへの興味・関心を高めるとともに職業観の育成を図る。

3　事業の内容

（1）現場代理人の業務内容を理解する。
（2）建築技術者から直接指導を受ける。
（3）最新の建築技術に触れる。
（4）２級建築施工管理技術検定第１次検定に挑戦する。

4　事業の実施体制

対象生徒：建築デザイン科２年生　40名
講　　師：一般社団法人宇都宮建設業協会
指 導 者：建築デザイン科　教員

5　実施スケジュール

体験型出前講座　11月予定
２級建築施工管理技術検定第１次検定の学習　４月～11月

6　事業の効果

・最新の建築技術を実際に体験することにより、建設業に対する興味・関心が高まり、建築施工に関する専門知識の理解をさらに深めることができる。

実　施　報　告　書

学 校 名	栃木県立宇都宮工業高等学校	科　　名	建築デザイン科	学　年	2 年
参加生徒	建築デザイン科　2 年　40名				
担当教員	建築デザイン科　職員 3 名（五十嵐　忠彦・山田　杏奈・永島　聖悟）				
実施時期・期間	令和 5 年 2 月15日（水）	教育課程上の位置づけ	建築実習（施設見学・座談会）		
協力企業名	企業名	宇都宮建設業青年の会　地域貢献委員長　柴田　洋輔　他			
	所在地	宇都宮市簗瀬町1958- 1			
	電　話	028-636-5221	担 当 者	柴田　洋輔	
実践的技術指導のねらい	現場見学や現場体験を通して、施工管理者からの実践的な指導を受け、施工管理者としての必要な知識・技術を学ぶ。				
実習の内容	1．カンセキスタジアム施設見学 普段では入れない施設等を、一つ一つ説明をいただきながら建物の機能を学んだ。 2．現場管理者の仕事について 現場施工管理者の 一 日の様子をまとめた映像を視聴し、仕事の内容を理解した。 3．若手現場管理者との対談 6 班の少人数に分け、若手現場管理者 6 名とそれぞれのブースに分かれ座談会を実施した。				
実習の成果	栃木国体会場となったカンセキスタジアムを初めて見学する生徒も多く、普段では入れないような室内（報道関係室等）や設備などの見学を通して生徒たちは、一つの建物を機能させるためには、あらゆる状況を考え計画し設計を行っていく大変さを実感したようである。 また、現場施工管理者の一日の様子をビデオを通して理解し、仕事の内容を知るとともに、現場での大変さとやりがいを感じたようである。 さらに、若手現場管理者と少人数での座談会では、終始和やかな雰囲気で話し合い、時には笑い声も聞こえ、現場管理者については勿論のこと、建設現場についても十分理解し距離感を縮めたようである。				
使用会場	カンセキスタジアム				

【報告書】
○生徒の感想
・進路で現場監督は考えていなかったけど、ありかもと考えはじめた。
・色々な状況を考えて建てられていると知った。
・想像していたよりも施工管理の仕事がブラックではなかったことに驚き、卒業後の進路に施工管理という選択肢ができた。
・知りたいこと、気になっていることを全部聞けた。
・普段入れないような施設や部屋に入れて、貴重な体験となった。
・現場監督に対してのイメージが良いものになりました。
・実際に話ができて、現場監督に就くのもいいなと思いました。
・監督の内容を知って、少し興味を持った。

○実習風景

開講式

全体説明

スタジアム見学

ロッカールーム

トラック

人工芝生

設備室見学

施設内見学

全体集合写真

座談会

座談会

閉講式

実習指導後の感想等	カンセキスタジアム、ユウケイ武道館の見学では普段見ることのできない裏動線も体験し、女性現場監督との座談会では本音で対談して終始生徒たちの笑顔を見ることができ大変素晴らしい一日でした。 　今回の事業をきっかけに建設業への更なる興味をもっていただけると幸いです。
実習指導者	域貢献委員会　委員長　柴田　洋輔

栃木県立那須清峰高等学校　建設工学科（土木コース）

実　施　計　画　書

1　事業の名称

・「舗装実習」

2　事業の目的

・建設業に従事する企業技術者から舗装の施工方法について指導していただき、地域の建設業の担い手となる基礎的な資質を培う。

3　事業の内容

（1）舗装について

（2）アスファルト舗装実習

4　事業の実施体制

対　　象：建設工学科２年生 土木コース　14名

協力企業：株式会社　大岩建設

5　実施スケジュール

令和４年９月末　舗装実習

6　事業の効果

・舗装の構造や施工を段階的に知ることができる。また、自らが施工に携わることにより舗装の特徴を理解することができる。

・技術・技能者の技を間近で見ることができる。直接、説明や指導をしてもらうことで理解が深まり、ものづくりへの興味・関心を高めることができる。

・建設業に対する、関心・意欲も高まり、進路決定の参考になる。

実　施　報　告　書

学 校 名	栃木県立那須清峰高等学校	科　　名	建設工学科	学　年	2 年
参加生徒	建設工学科　2 年土木コース　13名				
担当教員	建設工学科　職員 1 名				
実施時期・期間	9 /27（火）	教育課程上の位置づけ	土木実習（施工実習）		
協力企業名	企業名	株式会社　大岩建設			
	所在地	大田原市末広 1 丁目 4 -40			
	電　話	0287-23-1610	担 当 者	管理部部長　　木沢　由裕	
実践的技術指導のねらい	建設業に従事する企業技術者からアスファルト舗装工事について指導していただき、地域の建設業の担い手となる基礎的な資質を培う。				
実践的指導の内容	専門技術者の指導を受け、アスファルト舗装の技術を学ぶ。 1．専門技術者による作業手順の説明を受け、作業全体の流れを理解する。 2．路盤の転圧 3．型枠設置 4．アスファルト布設・転圧				
実践的指導の成果	・アスファルト舗装の準備から転圧までの一連の施工手順を説明していただいたことで、授業で学習した内容や、今後学習する内容について更に理解を深めることができた。 ・直接説明や指導をしてもらうことで建設業に対する理解が深まり、ものづくりへの興味・関心も高まり、進路決定の参考になった。 ・部室棟前の土部をアスファルト舗装することで、降雨時も地面がぬかるむことがなく、生徒の移動が今まで以上にスムーズとなり、学校に役立つ環境整備ができた。				
使用設備・使用機器・材料等	使用機器 ハンドローラー、プレートコンパクター、カクスコ、トンボ 一輪車、温度計 使用材料 砕石、アスファルト合材				

【報告書】

○生徒の感想

・昨年の先輩たちが舗装した箇所の続きを行い、完成させることができたのはとても良かった。作業の方法や注意する点を親切に指導していただいたおかげで、建設作業に興味をもつことができた。

・大岩建設には卒業生もおり、「この作業をすれば良いよ」と声を掛けてもらい作業できたのでとても嬉しかったです。

・建設の仕事にやり甲斐と魅力を感じることができて良い経験でした。将来は、建設業に就職したいと思います。

○実習風景

開講式の様子

路盤の転圧作業

アスファルト合材の運搬作業

アスファルト合材の敷き均し作業

転圧作業

施工後の様子

実習指導後の感想等	初めての加熱アスファルト合材の舗装作業でしたが、生徒の皆さんはそれぞれ真剣に作業に取り組んでくれ、授業とは違った建設業としての「ものづくり」の一部を体験していただけたのではないでしょうか。 この経験が今後の進路に向けての一助となり、是非、地元建設業の担い手になっていただきたいと思います。
実習指導者	株式会社　大岩建設　工事部　阿部　健一

栃木県立那須清峰高等学校　建設工学科（建築コース）

実　施　計　画　書

1　事業の名称

・「学校修繕」

2　事業の目的

・建築物の修繕等を通し建築物の構造を学ぶ。また、企業技術者から指導していただき、地域の建設業の担い手となる基礎的な資質を培う。

3　事業の内容

（1）学校の建物修繕作業

4　事業の実施体制

対　　象：建設工学科2年生　建築コース　24名

協力企業：地元建設会社（株式会社　生駒組）

5　実施スケジュール

令和4年9月末　実習

6　事業の効果

・直接、説明や指導をしてもらうことで理解が深まり、ものづくりへの興味・関心を高めることができる。

・建設業に対する、関心・意欲も高まり、進路決定の参考になる。

実　施　報　告　書

学 校 名	栃木県立那須清峰高等学校	科　名	建設工学科	学　年	2 年
参加生徒	建設工学科　2 年建築コース　16名				
担当教員	建設工学科　職員 2 名				
実施時期・期間	令 和 5 年 2 月 15 日 （水）	教育課程上の位置づけ	建築実習（施工実習）		
協力企業名	企業名	株式会社　生駒組			
	所在地	那須塩原市太夫塚5丁目221番地			
	電　話	0287-36-0648	担 当 者	総務部部長　　田中　智子	
実践的技術指導のねらい	建設業に従事する企業技術者から天井板の張替え補修について指導していただき、地域の建設業の担い手となる基礎的な資質を培う。				
実践的指導の内容	専門技術者の指導を受け、ＲＣ造の内装工事・補修の技術を学ぶ。 1. 専門技術者による作業手順の説明を受け、作業全体の流れを理解する。 2. 天井材の取り外し 3. 天井材の取り付け				
実践的指導の成果	・授業ではなかなか知ることのできない、内装工事に関して理解を深めることができた。天井材を外した際に、建物の躯体や構造を確認でき、授業の内容により理解を深めることができた。 ・直接説明や指導をしてもらうことで建設業に対する理解が深まり、ものづくりへの興味・関心も高まり、進路決定の参考になった。 ・学校の天井材には、降雨時にできた雨痕や長年の使用によって破損した部分が補修されたことで、見栄えもよく、学校の景観の向上に役立つ環境整備ができた。				
使用設備・使用機器・材料等	使用機器 インパクトドライバー、スクリュードライバー、足場台 使用材料 ロックウール天井板				

【報告書】

○生徒の感想

・普段から使用している校舎の補修を行ったことで、見た目がよくなりとても良かった。
・作業の方法や注意する点を職人の方に指導していただいたおかげで、内装工事作業に興味をもつことができた。
・工事を担当した職人の方に、「センスがあるね。上手だよ」と声を掛けてもらい作業できたのでとても嬉しかったです。
・建設の仕事にやり甲斐と魅力を感じることができて良い経験でした。将来は、建設業に就職したいと思います。

○実習風景

開講式の様子

班別挨拶の様子

作業説明の様子１

作業説明の様子２

天井板取り外し作業の様子

天井板取り付け作業の様子

実習指導後の感想等	今回行った天井の張替え作業は、中々体験出来ない内容で、生徒の皆さん一人一人が興味を持ち、真剣に且つ、皆で話し合いながら楽しそうに作業をしていました。 また、脚立作業で危険な作業でもありましたが、誰一人怪我無く終える事が出来ました。 この実習を機に、少しでも建設業に興味を持って頂ければ幸いです。
実習指導者	株式会社　生駒組　君嶋　柾哉

栃木県立真岡工業高等学校　建設科（土木コース）

実　施　計　画　書

1　事業の名称

・「舗装工事（インターロッキング舗装）体験実習」

2　事業の目的

・建設産業においては、就業者の高齢化や若年就業者の入職率の低下が進んでおり、技能・技術の伝承など、次世代を担う人材の育成が課題となっている。このような現状から、栃木県建設業協会と県内各工業高校が連携し建設業界のニーズを踏まえ、高校生が実践的な知識や技術・技能に触れることで、建設産業についてより深く理解する。

3　事業の内容

（1）舗装工事（インターロッキング舗装）

4　事業の実施体制

・地域の企業と連携した実習

5　実施スケジュール

・令和4（2022）年10月下旬～11月上旬頃に実施（2日間）

6　事業の効果

・体験学習を通じて、建設産業に携わる者としての意識や意欲の向上を図る。

実　施　報　告　書

学 校 名	栃木県立真岡工業高等学校	科　名	建設科	学　年	3 年
参加生徒	建設科　3 年（土木コース）　18名				
担当教員	建設科土木コース　職員 4 名（代表　飯泉　剛史）				
実施時期・期間	令和 4 年 9 /26、 9 /28の 2 日間	教育課程上の位置づけ	土木実習（施工実習・材料実習）		
協力企業名	企業名	中山建設株式会社			
	所在地	芳賀郡益子町大字大沢1462			
	電　話	0285-72-3148	担 当 者	代表取締役社長　中山　修司	
実践的技術指導のねらい	建設業に従事する企業技術者からインターロッキングブロック舗装の施工技術を指導していただき、地域の建設業の担い手となる基礎的な資質を培う。また、土木のものづくりの醍醐味を生徒に体験させる。				
実践的指導の内容	専門技術者の指導を受け、校内にインターロッキングブロック舗装を行う。 1．〈説　明〉専門技術者によるインターロッキングブロック舗装工事の作業手順の説明を受け、作業全体の流れを理解する。 2．〈レベル出し〉墨出しと丁張りについて体験をしながら技術を学ぶ。 3．〈縁石の施工〉モルタルの練り混ぜや縁石の施工方法について、体験をしながら技術を学ぶ。 4．〈敷砂の敷きならし〉敷砂を均一に敷きならす方法について、体験をしながら技術を学ぶ。 5．〈ブロックの敷設〉設計どおりにブロックを敷設する方法について、体験をしながら技術を学ぶ。 6．〈目地調整〉木製ハンマーやバールで目地幅を調整する方法について、技術を学ぶ。 7．〈端部処理〉ブロックをカッターで加工する方法について、技術を学ぶ。 8．〈転　圧〉コンパクターで舗装面の不陸調整を行う方法について、体験をしながら技術を学ぶ。 9．〈目地詰め〉目地砂の充填方法について、体験をしながら技術を学ぶ。				
実践的指導の成果	・企業技術者の指導がとても丁寧でわかりやすく、全ての作業を正確に効率良く行うことができた。 ・実際に作業に携わることによって、ものづくりの素晴らしさと現場でのチームワークの大切さを体験することができた。 ・インターロッキングブロック舗装工事の作業手順を楽しく知ることができた。				
使用設備・使用機器・材料等	使用機器：レベル、水準器、コンベックス、水糸、角スコップ、掛矢、練り舟、三角コテ、一輪車、レーキ、ならし板、竹ぼうき、振動コンパクタ 使用材料：セメント、砂、水、インターロッキングブロック、珪砂				

【報告書】〇生徒の感想

・中山建設株式会社の社員の方々に、一つ一つの作業をサポートしていただき、６時間で素晴らしいインターロッキングブロック舗装を完成させることができました。ご指導ありがとうございました。

・三色のインターロッキングブロックを偏りなく並べるところが、かなり難しく苦戦しましたが、並べ方の規則性やコツを教えていただいたことで、楽しく実習を行うことができました。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

○実習風景　令和４年９月26日（月）

①開講式

②講師挨拶

③作業手順の説明

④墨出し

⑤丁張り

⑥レベル

⑦縁石の施工

⑧縁石の施工

⑨縁石の施工

○実習風景　令和４年９月28日（水）

⑩敷砂の敷きならし

⑪敷砂の敷きならし

⑫ブロックの敷設

⑬目地詰め

⑭転圧

⑮完成・記念写真

実習指導後の感想等	今回のインターロッキング施工体験で生徒の皆さんは、完成という達成感を得られたと思います。 我々建設業の仕事は、物を作り上げる達成感を伴うやりがいのある仕事です。今後さらに興味･関心を深めてもらい、近い将来のインフラ整備を支えていく次世代の担い手として期待しております。
実習指導者	中山建設株式会社　中山　修司　中山　晶夫

栃木県立真岡工業高等学校　建設科（建築コース）

実　施　計　画　書

1　事業の名称

・「外構工事（ウッドデッキ製作）体験実習」

2　事業の目的

・建設産業においては、就業者の高齢化や若年就業者の入職率の低下が進んでおり、技能・技術の伝承など、次世代を担う人材の育成が課題となっている。
このような現状から、栃木県建設業協会と県内各工業高校が連携し建設業界のニーズを踏まえ、高校生が実践的な知識や技術・技能に触れることで、建設産業をより深く理解する。

3　事業の内容

（1）外構工事（ウッドデッキ製作）

4　事業の実施体制

・地域の企業と連携した実習

5　実施スケジュール

・令和４（2022）年10月下旬～11月上旬頃に実施（２日間）

6　事業の効果

・体験学習を通じて、建設産業に携わる者としての意識や意欲の向上を図る。

実　施　報　告　書

学 校 名	栃木県立真岡工業高等学校	科　名	建設科	学　年	3 年
参加生徒	建設科　3 年（建築コース）　19名				
担当教員	建設科　職員 5 名（代表教員　黒﨑　利之）				
実施時期・期間	11/17、11/19の 2 日間	教育課程上の位置づけ	建築実習（施工実習）		
協力企業名	企業名	剋真建設（株）			
	所在地	真岡市田町1515- 4			
	電　話	0285-82-9311	担 当 者	建築部　課長補佐　菊田　裕也	
実践的技術指導のねらい	建設業に従事する企業技術者から、ウッドデッキ工事を通して、実践的な知識や技術・技能に触れることで、建設産業を理解する。				
実践的指導の内容	専門技術者の指導を受け、コットンキャビンのウッドデッキ工事を行う。 （1）ウッドデッキの基礎部分の施工体験を行う。 （2）ウッドデッキの床板を加工して、取り付け施工体験を行う。				
実践的指導の成果	（1）生徒の変容 ・ウッドデッキの墨だし方法を理解し、基礎と束の設置工事を行った。アルミの束の切断には、工具を使って安全な加工方法を学んだ。 ・ウッドデッキ工事を体験することで、ウッドデッキの加工から組立までの一連の工程を実際の作業を通して学び、理解することができた。 ・生徒それぞれが興味・関心を持ち、意欲的に作業に取り組んでいる様子が見られた。 （2）教員の資質向上 ・ウッドデッキ工事で行われる、墨だしの方法・施工手順や、安全に作業するための注意点を学ぶことができた。 ・製作を通して、職人の技や工法について学ぶことができた。 ・ウッドデッキ工事の一連の作業を実体験を通して学ぶことができた。 （3）学習環境の充実 ・今後の施工実習に生かすことができる内容であった。 （4）教育界と建設業界の連携強化 ・地元企業との協力関係を深めることができた。				
使用設備・使用機器・材料等	レーザーレベル、自動レベル　スライド丸鋸、曲尺、インパクトドライバー 人工木材、アルミ束、コンクリート平板　など				

【報告書】
○生徒の感想
・私は、ウッドデッキ工事の施工体験をすることができて、とても良い経験になりました。また、専門の技術者から施工に関する一連の作業内容を丁寧に教えていただき、建築の知識を深めることができました。私は、高校卒業後に現場監督として、建築工事の施工管理の仕事に携わりたいと考えています。この貴重な経験をこれから生かしていきたいと思います。
・今回のウッドデッキ工事実習を通して良い体験をすることができ、とても充実した時間でした。実際に丸鋸を使用して部材を加工して、インパクトドライバーにより床板をビスで固定するなど、学校の授業で身に付けた技術が生かすことができてとてもよかったです。私は、この実習を通して、建設業の魅力をあらためて感じる事ができました。本当にありがとうございました。

○実習風景

開講式

位置の墨だし

製作手順の説明

束石の設置

束の墨だし

レベルの測定

束の加工

束の設置

大引きの取付け

玉石を敷く

床板の加工

床板取付け

完成写真

集合写真

全体写真

実習指導後の感想等	専門課程の生徒で普段机上で学んでいることの答えを実体験で学んで頂けたらと思い準備、加工、取付、完成までを全て生徒ができるよう計画しました。 最初は慣れないことに戸惑いながらも私に質問したり、グループ協働で話し合い協力し合って、一生懸命取り組み、物を形にすることの大変さや達成感を感じてくれたと思います。又、生徒一人ひとりに個性も感じられ、指導側としても勉強させられることがありました。今回の実習が建設業を志望する事のきっかけとなり、更なる関心へと繋がって頂けたら幸いです
実習指導者	剋真建設（株）　建築部　課長補佐　菊田　裕也

栃木県立今市工業高等学校　建設工学科（土木コース）

実　施　計　画　書

1　事業の名称

・「今市工業高校駐車場アスファルト舗装」

2　事業の目的

・建設業に従事する企業技術者から施工技術の指導を受け、建設業の担い手となる基礎的な資質を培う。ものづくりを体験することで建設業の理解を深め、その魅力を体験する。

3　事業の内容

・舗装工事について学習し、駐車場の施工方法などについて企業技術者から指導を受け、施工技術についての知識や技能・技術に触れ、体験する。

4　事業の実施体制

対象生徒：建設工学科２年土木コース　16名

職　　員：４名

5　実施スケジュール

・１日間（11月８日（火）実習と課題研究の授業で実施）

6　事業の効果

・企業技術者より施工技術の指導を受け、施工技術を体験することにより、建設業に対する興味・関心が高まり、専門知識の理解をさらに深めることができる。

実　施　報　告　書

学 校 名	栃木県立今市工業高等学校	科　名	建設工学科	学　年	2 年
参加生徒	建設工学科（土木コース）　2 年　16名				
担当教員	藤巻　靖久、佐藤　俊樹、齋藤　真弘、三星　敦史				
実施時期・期間	11/ 8 （火）	教育課程上の位置づけ	土木実習・土木施工		
協力企業名	企業名	磯部建設株式会社			
	所在地	日光市針貝字茅場1071-10			
	電　話	0288-25-3601	担 当 者	アスファルト事業部理事　中三川　幸男	
実践的技術指導のねらい	地域産業の次世代の担い手として、日常の授業で体験することのできない内容に触れることで、建設業に興味・関心を持ち、その発展に貢献しようとする心構えを育成する。舗装工事に関する知識・技術の習得を目指す。また、建設工学科職員の指導力の向上を図る。				
実践的指導の内容	《アスファルト舗装》 ・地盤調整　・アスファルト舗装　・転圧　・重機体験				
実践的指導の成果	駐車場アスファルト舗装の施工を通して、実際の施工現場で行われている技術や、現場ならではの注意点等を学ぶことができた。舗装用の様々な重機操作を体験し、建設業に対する興味・関心がより高まった。 建設工学科職員の指導力も向上させることができた。				

○駐車場アスファルト舗装

作業前の挨拶

乳剤散布

アスファルト敷き均し

ローラー締固め

コンパクター

座学

○生徒の感想

舗装工事は、高さもなく地盤に近いところの工事であるが、様々な安全対策を取りながら行っていることを知った。建設工事における安全対策の重要性を感じた。簡単に見える作業も、実際に体験すると、手順をしっかり守ることが重要であり、さらに教科書では学ばない様々な細かい工夫がなされていることに気づいた。良い経験となりました。ありがとうございました。

栃木県立今市工業高等学校　建設工学科（建築コース）

実　施　計　画　書

1　事業の名称

・「専門工事業による作業体験」

2　事業の目的

・建設業に従事する企業技術者から施工技術の指導を受け、建設業の担い手となる基礎的な資質を培う。また、施工技術を体験することにより、安全教育に関する知識を身につける。

3　事業の内容

・専門工事業に関する基礎知識や施工技術などについて企業技術者から指導を受ける。
鉄筋・ガス圧接工事業、鳶･土工工事業、防水工事業、左官工事業、型枠工事業など。

4　事業の実施体制

対象生徒：建設工学科２年　27名

職　　員：９名

5　実施スケジュール

７月の１日間（６時間）

・職種の紹介、講話（１時間）

・作業体験　　（１時間×５班）

6　事業の効果

・施工技術を体験することにより、つくることの楽しさ、やりがいを感じることができる。
また、建設業に対する興味・関心が高まり、専門知識の理解をさらに深めることができる。

実　施　報　告　書

学 校 名	栃木県立今市工業高等学校	科　名	建設工学科	学　年	2 年
参加生徒	建設工学科　2 年　27名　（男子20名、女子 7 名）				
担当教員	建設工学科職員				
実施時期・期間	5 月24日（火）・ 6 時間 6 月 7 日（火）・ 3 時間	教育課程上の位置づけ	建設実習		

協力企業名		
長谷川建設（株）	那須塩原市上中野67－3	長谷川広行
（株）英和技研	宇都宮市幕田町383－1	鈴木　隆之
（株）大勝建設	宇都宮市幕田町383－2	安納　　晃
（株）カネダ	宇都宮市芦沼町字湯殿神社前3827	金田　　剛
（株）大場工業	宇都宮市峰町570－1	波多野健壽
協和ビルテクノス（株）	宇都宮市若草 4 －25－ 8	渡邊　幸徳
（株）石野内装	宇都宮市北若松原 1 － 6 －12	石野　哲也
（有）榎ビルサービス	宇都宮市屋板町690－2	渡邊　　順
（株）グンキ	宇都宮市花房 3 － 2 － 1	坂田　啓一

実践的技術指導のねらい	建設業に従事する企業技術者から施工技術の指導を受け、建設業の担い手となる基礎的な資質を培う。また、施工技術を体験することにより建設業に対する興味・関心を高め、その産業の発展に貢献しようとする心構えを育成する。
実践的指導の内容	1．技術者からみた「ものづくり」へのこだわり　＜ 1 時間＞ 2．専門工事業の作業を見学・体験する　1 日目＜ 5 時間　5 班ローテーション＞ 2 日目＜ 3 時間　3 班ローテーション＞
実践的指導の成果	各社から仕事内容や体験実習についてわかりやすい説明をいただき、普段では味わえない体験実習となり、各作業の一連の流れや作業方法、安全作業を理解することができる。
使用設備・使用機器・材料等	＜安全具＞ 保護帽、軍手、ハーネス型安全帯、保護メガネなど ＜体験実習＞ 1 日目　型枠工事（柱･梁･壁･スラブ）　左官工事（壁塗り）　鳶土工事（鉄骨） 鉄筋工事（柱・梁・壁）　ガス圧接工事（柱･梁） 2 日目　防水工事（シーリング）　内装工事（壁紙）　清掃工事（窓･床）

【報告書】

○生徒の感想

・建設業は多くの職種があり、多くの人達の手で建物を造ることを知りました。
・職人さんが格好良く現場の雰囲気が伝わった。たくさん会話をすることが出来ました。
・簡単に見えた作業は、実際に体験してとても難しかった。
・２日間の実習は、全て違う内容で興味が強くなりました。
・鉄筋工の職人さんと鉄筋の組み方競争を行い、速さと仕上がりの違いを実感しました。

○職員の感想

・学校の授業では体験する事の出来ない作業内容で、一連の技術指導を受けることができました。生徒たちは活き活きした表情で作業を行い、完成後は満足した様子でした。大変貴重な経験となりました。この体験を通して、建設業の魅力を十分に感じることが出来たと思います
ご協力いただいた企業の皆様、体験実習が実施出来たことに感謝いたします。

○実習風景

1日目

開講式

鳶工事①

鳶工事②

圧接工事①

圧接工事②

型枠工事①

型枠工事②

左官工事①

左官工事②

内装工事①

内装工事②

講評

2日目

開講式

清掃工事①

清掃工事②

防水工事①

防水工事②

鉄筋工事①

鉄筋工事②

講評

技術者による授業後の感想等	生徒さん一人一人が真剣な表情で作業に取り組んでいました。やりがいや達成感、雰囲気を感じてもらい、建設業の仕事に興味を持ってもらう良い機会になったと思います。今後も実習内容等の充実を図っていきたいと思います。
実習指導者	長谷川広行、鈴木　隆之、安納　　晃、金田　　剛、波多野健壽、 渡邊　幸徳、石野　哲也、渡邊　　順、坂田　啓一

栃木県立小山北桜高等学校　建設システム科

実　施　計　画　書

1　事業の名称

・「建設工事現場　体験型出前講座」

2　事業の目的

・学習活用の一環として、実際の建設現場における監理方法について学び、ものづくりへの興味・関心を高めるとともに職業観の育成を図る。

3　事業の内容

（1）施工現場管理の業務内容を理解する。

（2）建設技術者から直接指導を受ける。

（3）最新の建設技術に触れる。

4　事業の実施体制

建築システム科1年生　36名

講　師：栃木県建設業協会下都賀支部

指導者：建築システム科教員

5　実施スケジュール

（1）建設現場での働き方を学ぶ出前講座

・4月～11月中の1～2日

＊コロナ感染状況を踏まえて判断する。

6　事業の効果

・建設現場で働く方の様子を見学したり、工事関係者から直接話を聞くことにより、建設業に対する興味・関心が高まり、建築施工に関する専門知識の理解を深めることができる。

実　施　報　告　書

学 校 名	栃木県立小山北桜高等学校	科　名	建築システム科	学　年	1 年
参加生徒	建築システム科　1 年　36名				
担当教員	建築システム科　職員				
実施時期・期間	10/21（金）	教育課程上の位置づけ	工業技術基礎		
協力企業名	企業名	栃木県建設業協会　下都賀支部　建友会			
	所在地	栃木市本町10-10			
	電　話	0282-24-5428	担 当 者	建友会　副会長 （株）小林工業　小林英一郎様	
実践的技術指導のねらい	建設工事の現場を監理する企業の方々に、建設業の魅力や仕事に取り組む姿勢を学び、将来の技術者の担い手となる考え方や意識を養う。				
実践的指導の内容	建設現場監理技術者の指導を受け、建設業で働く方の働き方や仕事の大変さ、やりがいなどを理解する。 1. 建設業の仕事の内容と魅力についての講義 2. 実際の建築工事現場の紹介 リモートにて獨協医科大学増築工事現場 3. ワークショップ：建設業で働く方と生徒の意見交換会 生徒 4 ～ 5 名程度と建設業の方数名の各班に分け、 2 つの教室に分かれて実施				
実践的指導の成果	・建設業の実際の仕事内容について事例を含めて説明していただいたことで、建設の工事監理に関する内容について理解することができた。 ・建設現場の様子をリアルタイムに視聴することができ建設現場に行かなくても現場の雰囲気を知ることができた。 ・直接建設業で働いている方々から説明や指導をしていただくことで建設業に対する理解が深まり、建設業への興味・関心も高まり、進路決定の参考になった。				
使用設備・使用機器・材料等	使用機器 パソコン、プロジェクター				

【報告書】
○生徒の感想
・実際の仕事の様子や仕事のやりがい、現場の大変さなどをとてもやさしく親切に指導していただき、楽しく現場の仕事を理解することができました。
・実際に今、工事監理されている現場の様子を見せていただき現場事務所の内部の様子やそこで働いている方の様子が分かりました。また、現場で動いていた重機の音の大きさなども見て感じることができました。

○実習風景

講義の様子

講義の様子

リモートによる現場紹介

各班に分かれての質疑・応答の様子

班別活動の様子

質疑応答（全体での）

実習指導後の感想等	私達が想像していた以上に生徒の皆様に興味を持っていただけたので、非常に嬉しく思っています。この実習を機に、建設業が職業選択の候補の１つになってもらえれば幸いです。今後も生徒の皆様の為になる実習となるよう工夫していきたいと思います
実習指導者	栃木県建設業協会　下都賀支部　建友会　副会長 （株）小林工業　　代表取締役　　小林　英一郎

栃木県立栃木農業高等学校　環境デザイン科

実　施　計　画　書

1　事業の名称

・「体験型出前講座」

2　事業の目的

・日頃の学習内容について、実際の建設現場での技術などの見学・体験的な学習を通して知識・理解を深め、専門的な学習への関心意欲を高めるとともに進路意識を向上させる

3　事業の内容

（1）建設現場の見学と業務内容の理解

（2）施工現場の把握と作業手順や安全管理について

（3）施工の実際について

4　事業の実施体制

環境デザイン科２、３年生

講　師：一般社団法人　栃木県建設業協会　下都賀支部

指導者　：環境デザイン科教員

5　実施スケジュール

体験型出前講座・見学

（1）４～７月中の１～２日程度

（2）９～11月中の１～２日程度

6　事業の効果

・最新の土木技術を実際に体験・見学することやプロと直接の対話を通して、建設業に対する興味・関心を持つようになり進路意識が高まる。また、専門的な学習の意義を再認識でき、学習意欲の向上が図られる。

実　施　報　告　書

学 校 名	栃木県立栃木農業高等学校	科　名	環境デザイン科	学　年	2 年
参加生徒	環境デザイン科　2 年　38名				
担当教員	環境デザイン科　職員 2 名（代表　篠﨑　亮介）				
実施時期・期間	令和 4 年11月 1 日（火）	教育課程上の位置づけ	総合実習		

協力企業名	企業名	栃木県建設業協会　下都賀支部　建友会		
	所在地	栃木市本町10-10		
	電　話	0282-24-5428	担 当 者	建友会　副会長 （株）小林工業　小林英一郎様

実践的技術指導のねらい	建設業に従事する技術者から、施工現場を例に安全管理や品質管理などの実際を学び、生徒の進路意識や資格取得等の意欲を高め、今後の専門的な学習の意義を理解させる。
実践的指導の内容	1．建設現場の 1 日のスケジュールや作業種等を理解する。 2．河川工事の現場を見学し、作業工程や河川、堤体等の要点を学ぶ。 3．現場での安全管理や品質管理の実際の説明を受け、知識だけではない技術者としての考え方を学ぶ。 4．個別で感じている疑問点等を、小グループに分け技術者との対話を通して学ぶ。
実践的指導の成果	・安全管理や品質管理など具体的な事柄を、現場の様子を通して学ぶことができ理解が深まった。 ・河川工事の作業工程や要点等を学ぶことができ、内容を学習する。 ・小グループでの説明をしていただいたことで、分かりやすく個別での対談を通して疑問点を解消することができた。 ・技術者の考え方に触れ、進路や資格取得への意識が高まり、学習意欲も向上している様子が見られた。 ・コミュニケーション能力の必要性と現状の自分を理解することができた。
使用設備・使用機器・材料等	使用機器 パソコン、プロジェクター

【報告書】
○生徒の感想
・インターンシップでお世話になった企業以外のことも知ることができてよかった。
・安全管理という言葉のイメージだけで理解していたが、実際に現場でどのようなことに気を付けているのか具体的に学ぶことができました。
・河川工事は登下校時に見てはいたが、それを作っている人に説明してもらえたことで、また教えてもらった視点で見てみようと思いました。
・現場代理人の方のお話は分かりやすく、親しみやすさを感じました。
・資格のお話も参考になりました。

○実施風景

建設業界の現状についての講話

リモートでの現場の説明①

リモートでの現場の説明②

現場代理人の業務について講話

小グループでの技術者との対談①

小グループでの技術者との対談②

小グループでの技術者との対談③

技術者との対談（全体の様子）

実習指導後の感想等	生徒の皆様には今まで以上に建設業に興味を持っていただけたのかなと感じる事ができ、とても有意義な実習だったと思います。今後も建設業が職業選択の候補の1つとなれるよう、より充実した実習を考えていきたいと思います。
実習指導者	栃木県建設業協会下都賀支部　建友会　副会長　小林英一郎

4 令和４年度若年者建設業担い手育成支援事業 アンケート集計結果（全体）

令和４年度若年者建設業担い手育成支援事業の実施に伴い、事業実施高等学校の生徒を対象にアンケート調査を行いました。ここでは、アンケートを実施した全ての高等学校に係る全体の集計結果を報告致します。

○　実施高校

- 宇都宮工業高等学校　環境土木科・建築デザイン科
- 那須清峰高等学校　建設工学科（土木コース・建築コース）
- 真岡工業高等学校　建設科　（土木コース・建築コース）
- 今市工業高等学校　建設工学科（土木コース・建築コース）
- 小山北桜高等学校　建築システム-科
- 栃木農業高等学校　環境デザイン科

○　回答者総数　262名

アンケート実施項目

1　あなたが在学する高校を選んだ理由

2　高校卒業後の進路について

3　建設業についてあなたはどのように感じていますか。

4　建設業は国の基幹産業であり、経済発展に重要な役割を果たしている と思いますか。

5　建設会社にもし就職したら、どんな職種に進みたいですか。

6　建設会社にもし就職したら会社のどのような情報を知りたいですか。

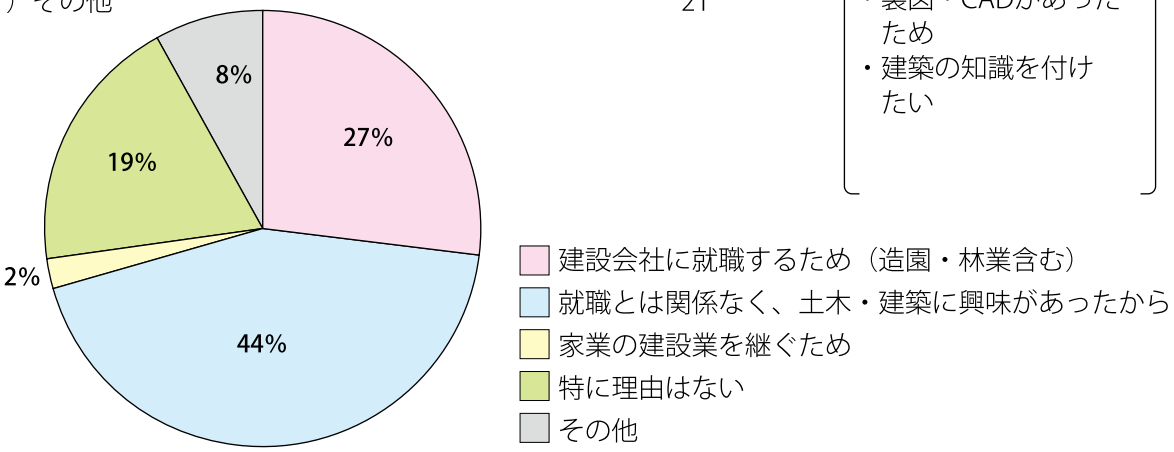
7　今回の実習はどうでしたか。

全　体　集　計　表

＜問１＞　あなたが在学する高校を選んだ理由

１）建設会社に就職するため（造園・林業含む）	71
２）就職とは関係なく、土木・建築に興味があったから	114
３）家業の建設業を継ぐため	6
４）特に理由はない	50
５）その他	21

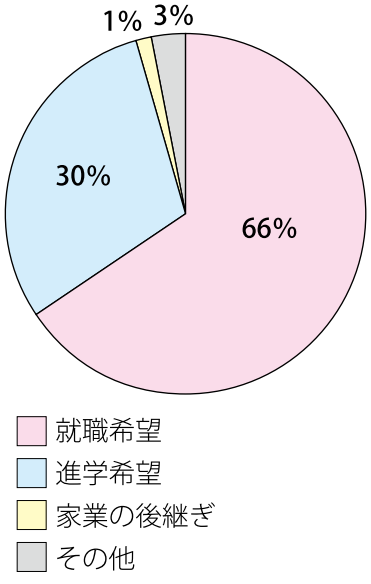
その他の理由
- 部活
- 通学距離が近い
- 就職に有利
- 進学も可能
- 製図・CADがあったため
- 建築の知識を付けたい



＜問２＞　高校卒業後の進路について

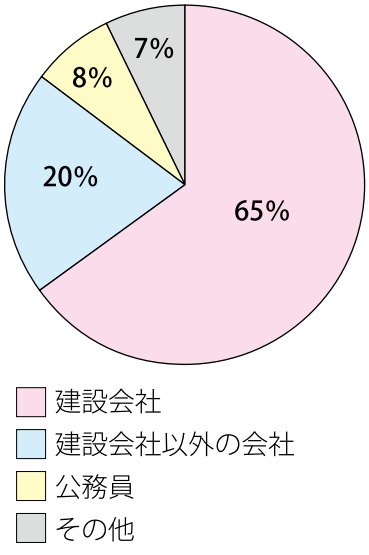
【進路希望の割合】

１）就職希望	172
２）進学希望	79
３）家業の後継ぎ	3
４）その他	8



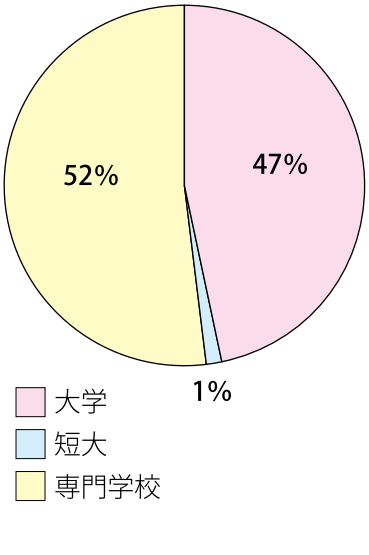
【就職希望者の内訳】

１）建設会社	112
２）建設会社以外の会社	35
３）公務員	13
４）その他	12



【進学希望者の内訳】

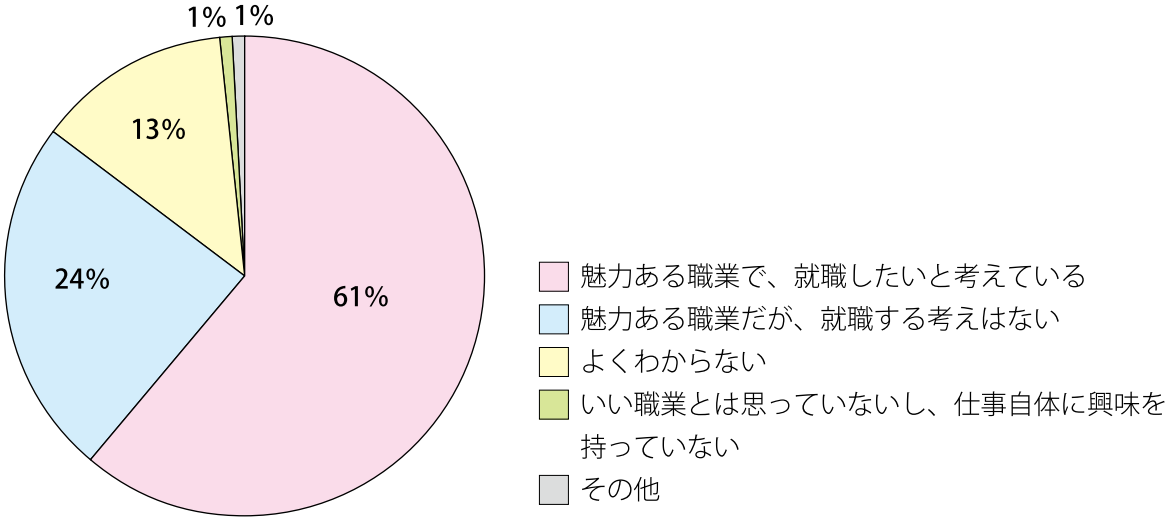
１）大学	37
２）短大	1
３）専門学校	41



＜問３＞　建設業についてあなたはどのように感じていますか

１）魅力ある職業で、就職したいと考えている	162
２）魅力ある職業だが、就職する考えはない	64
３）よくわからない	34
４）いい職業とは思っていないし、仕事自体に興味を持っていない	1
５）その他	1

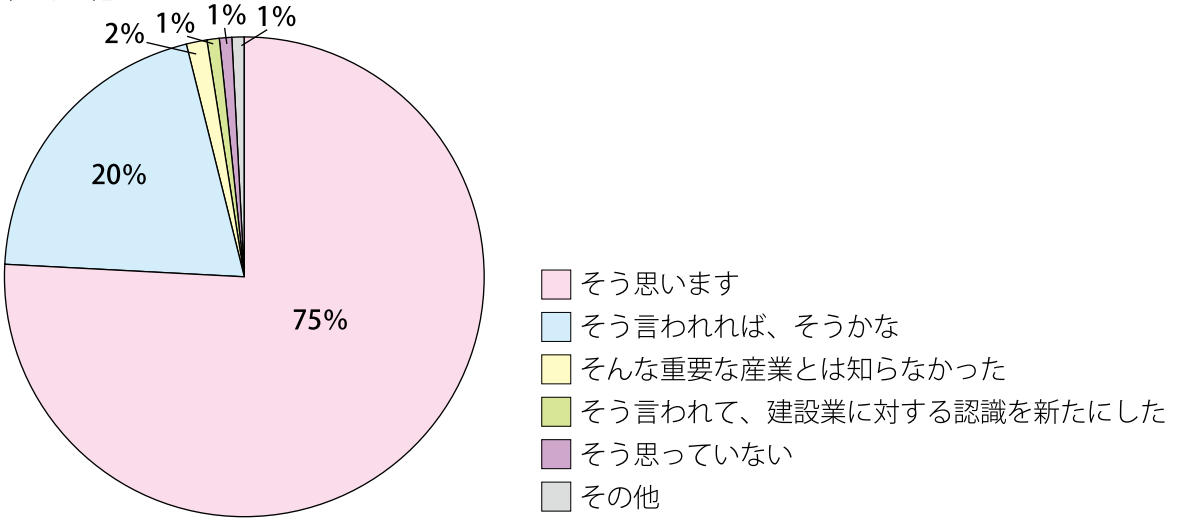
その他の理由



＜問４＞　建設業は国の基幹産業であり、経済発展に重要な役割を果たしていると思いますか

１）そう思います	201
２）そう言われれば、そうかな	53
３）そんな重要な産業とは知らなかった	4
４）そう言われて、建設業に対する認識を新たにした	1
５）そう思っていない	1
６）その他	2

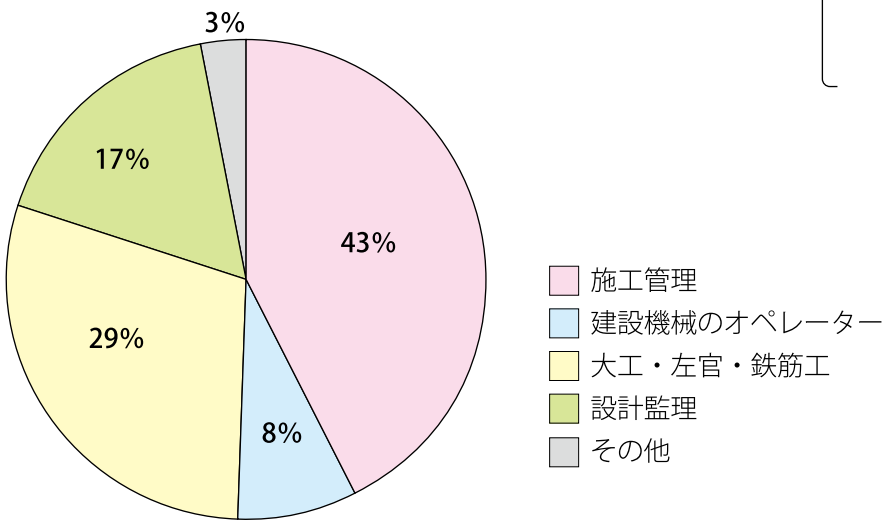
その他の理由



＜問５＞　建設会社にもし就職したら、どんな職種に進みたいですか

1）施工管理	112
2）建設機械のオペレーター	21
3）大工・左官・鉄筋工	77
4）設計監理	44
5）その他	8

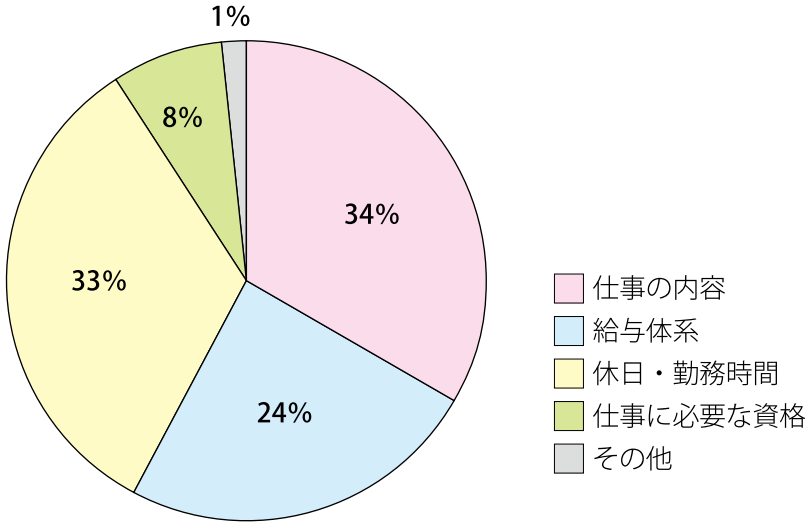
その他の希望
- 営業事務
- 測量会社
- インテリアデザイナー



＜問６＞　建設会社にもし就職したら会社のどのような情報を知りたいですか

1）仕事の内容	96
2）給与体系	70
3）休日・勤務時間	94
4）仕事に必要な資格	22
5）その他	4

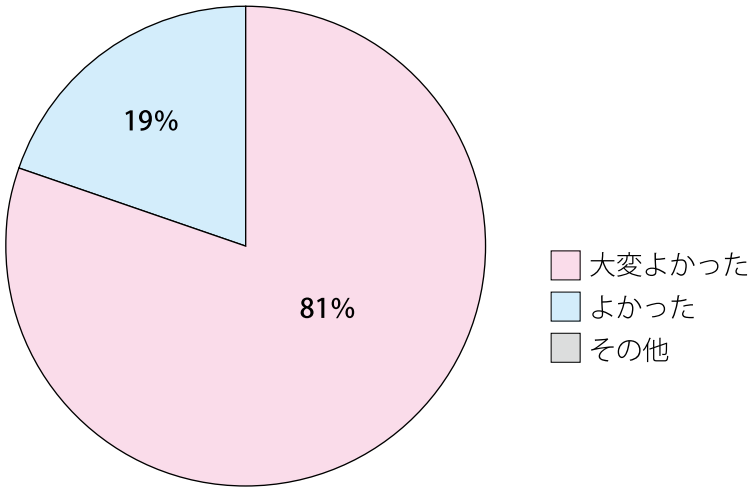
知りたい情報
※複数回答あり
- 会社の雰囲気
- 人間関係



＜問７＞　今回の実習はどうでしたか

1）大変よかった	211
2）よかった	51
3）その他	0

その他の意見



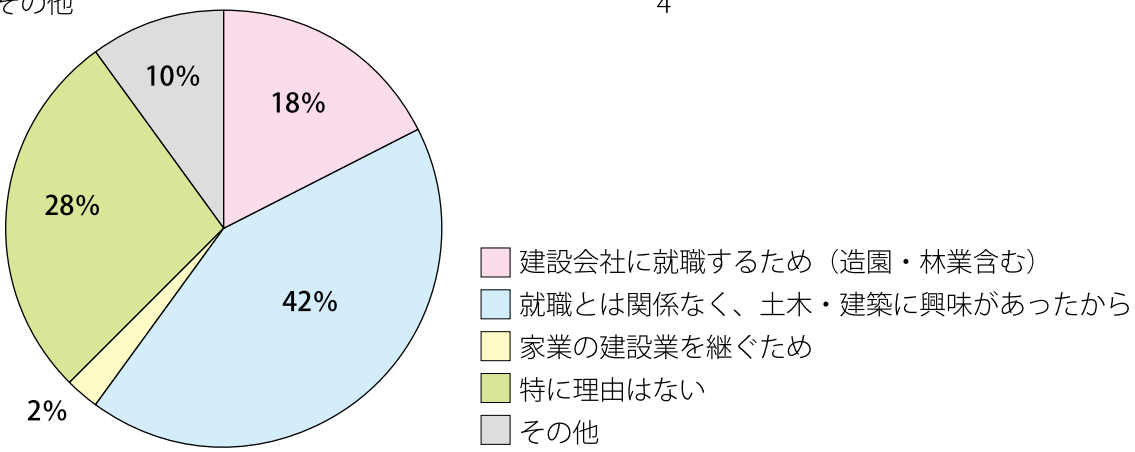
実施高等学校アンケート集計結果

栃木県立宇都宮工業高等学校　環境土木科

＜問１＞　あなたが在学する高校を選んだ理由

１）建設会社に就職するため（造園・林業含む）	7
２）就職とは関係なく、土木・建築に興味があったから	17
３）家業の建設業を継ぐため	1
４）特に理由はない	11
５）その他	4

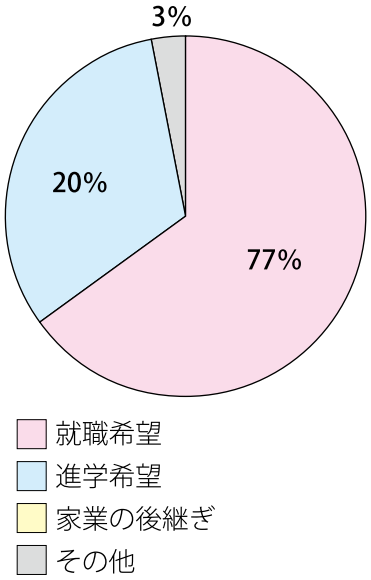
その他の理由
- 就職に有利
- 部活



＜問２＞　高校卒業後の進路について

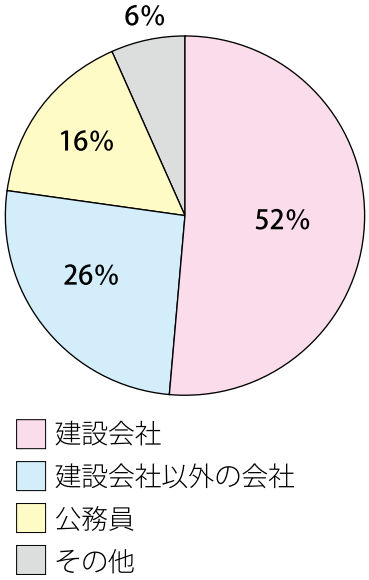
【進路希望の割合】

１）就職希望	31
２）進学希望	8
３）家業の後継ぎ	0
４）その他	1



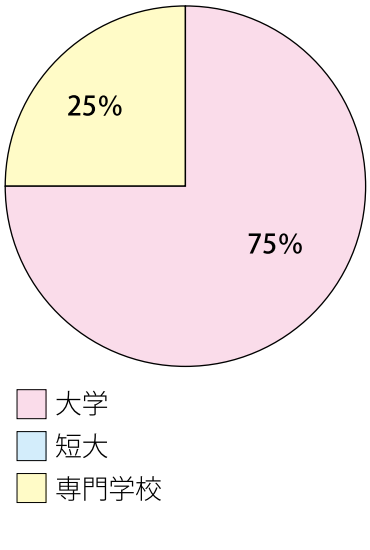
【就職希望者の内訳】

１）建設会社	16
２）建設会社以外の会社	8
３）公務員	5
４）その他	2



【進学希望者の内訳】

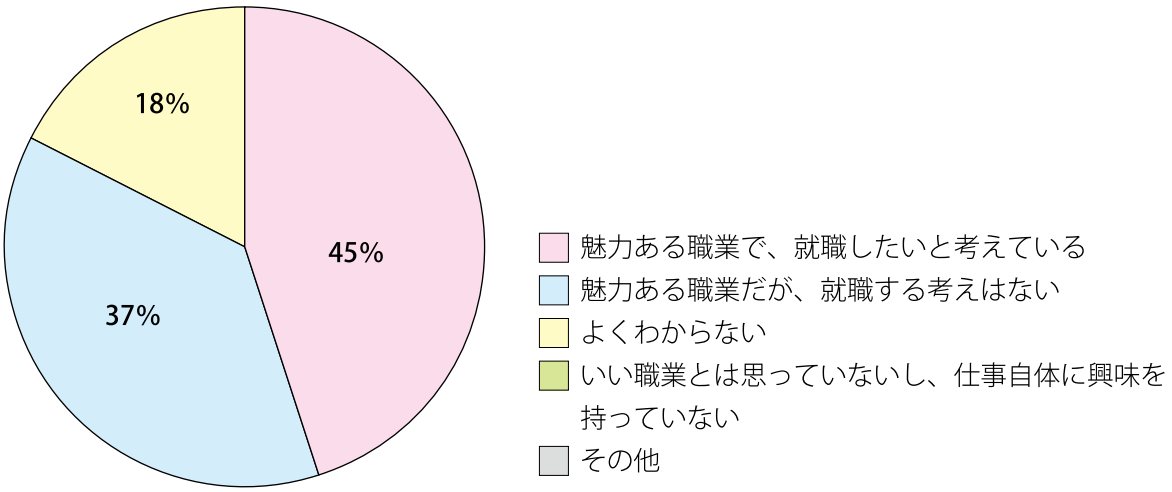
１）大学	6
２）短大	0
３）専門学校	2



＜問３＞　建設業についてあなたはどのように感じていますか

１）魅力ある職業で、就職したいと考えている	18
２）魅力ある職業だが、就職する考えはない	15
３）よくわからない	7
４）いい職業とは思っていないし、仕事自体に興味を持っていない	0
５）その他	0

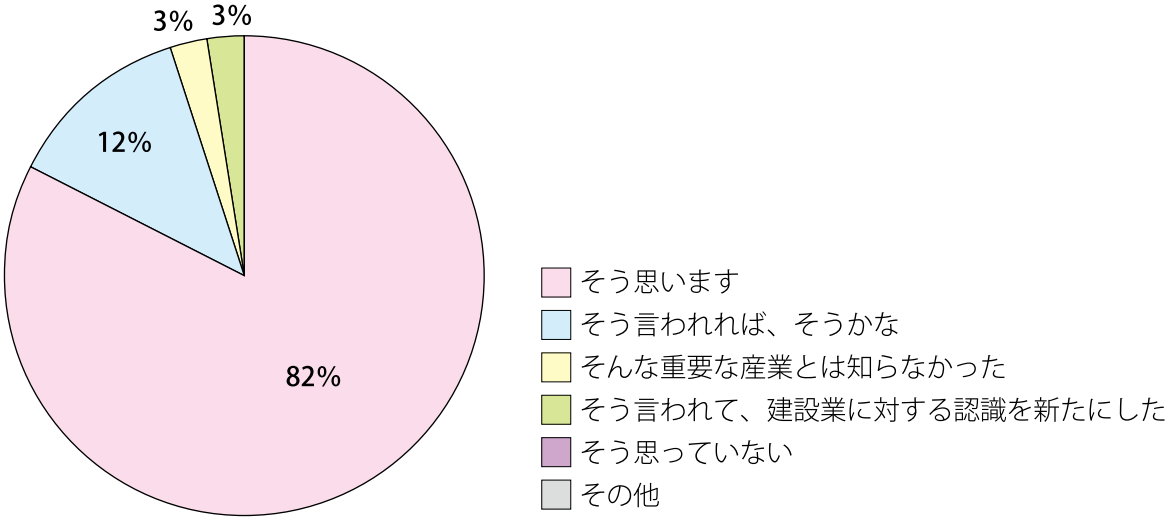
その他の理由



＜問４＞　建設業は国の基幹産業であり、経済発展に重要な役割を果たしていると思いますか

１）そう思います	33
２）そう言われれば、そうかな	5
３）そんな重要な産業とは知らなかった	1
４）そう言われて、建設業に対する認識を新たにした	1
５）そう思っていない	0
６）その他	0

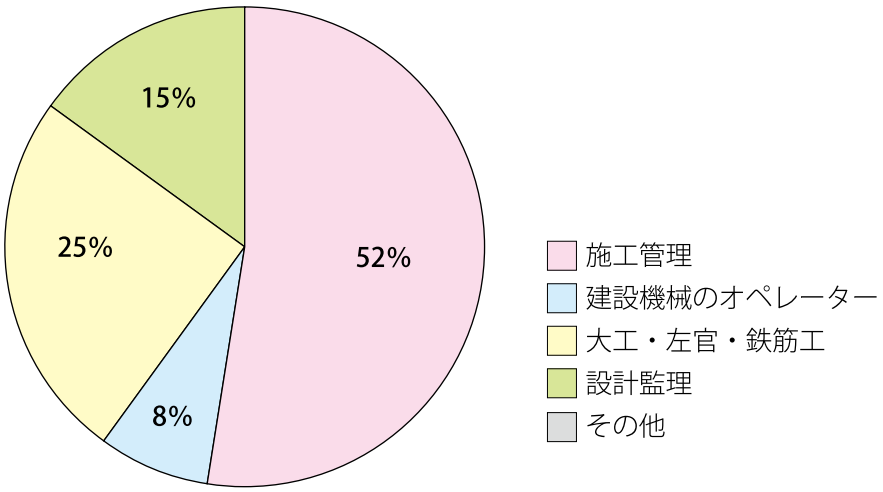
その他の理由



＜問５＞　建設会社にもし就職したら、どんな職種に進みたいですか

１）施工管理	21
２）建設機械のオペレーター	3
３）大工・左官・鉄筋工	10
４）設計監理	6
５）その他	0

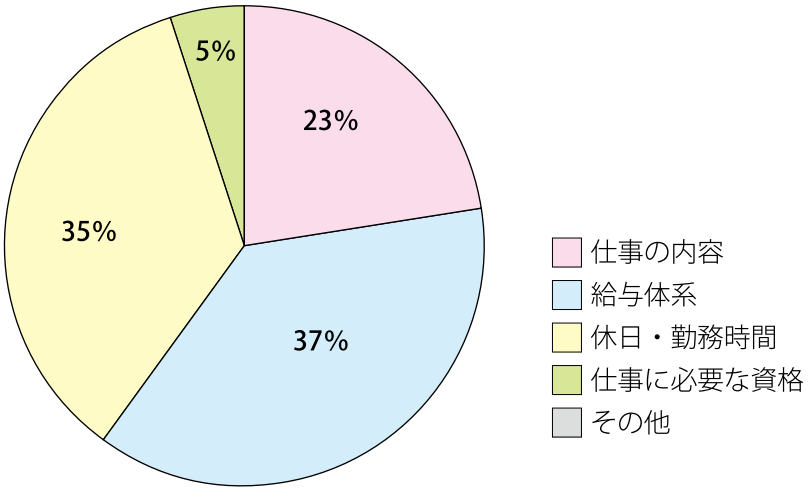
［　その他の希望　］



＜問６＞　建設会社にもし就職したら会社のどのような情報を知りたいですか

１）仕事の内容	9
２）給与体系	15
３）休日・勤務時間	14
４）仕事に必要な資格	2
５）その他	0

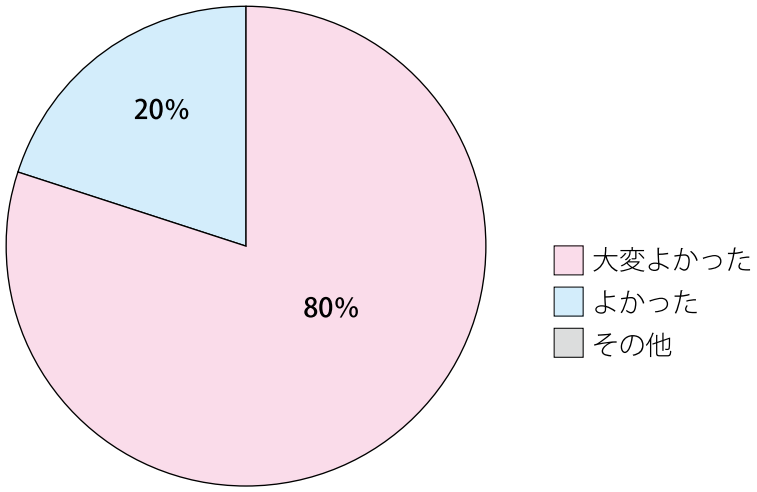
［　知りたい情報　］



＜問７＞　今回の実習はどうでしたか

１）大変よかった	32
２）よかった	8
３）その他	0

その他の意見

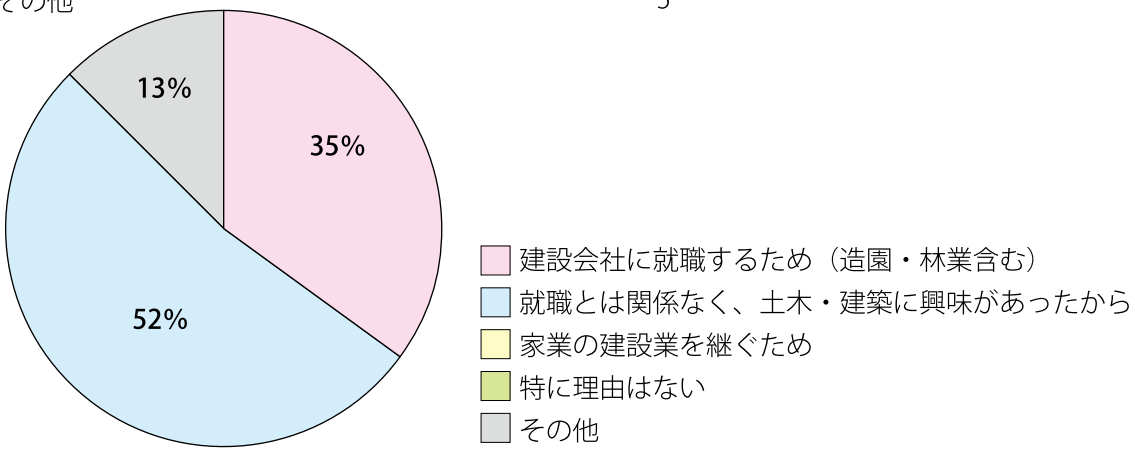


栃木県立宇都宮工業高等学校　建築デザイン科

＜問１＞　あなたが在学する高校を選んだ理由

１）建設会社に就職するため（造園・林業含む）	14
２）就職とは関係なく、土木・建築に興味があったから	21
３）家業の建設業を継ぐため	0
４）特に理由はない	0
５）その他	5

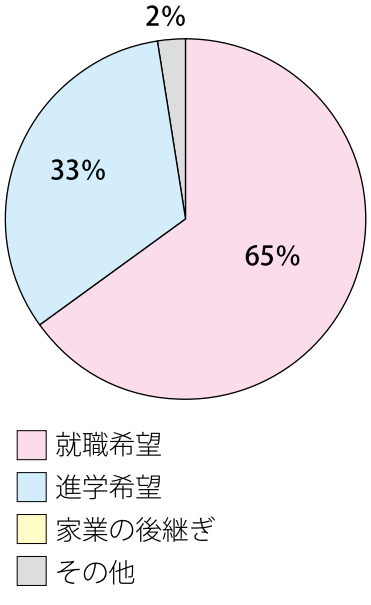
その他の理由
- 就職に有利
- 進学も可能
- 部活



＜問２＞　高校卒業後の進路について

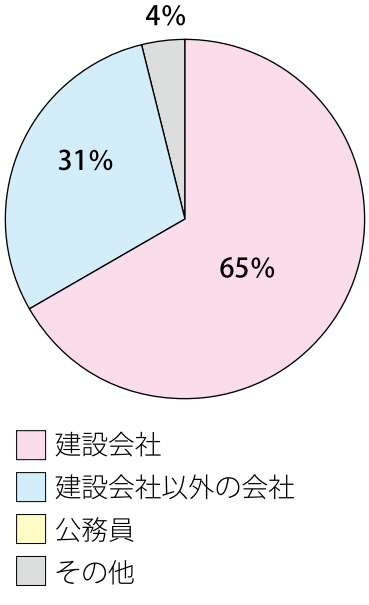
【進路希望の割合】

１）就職希望	26
２）進学希望	13
３）家業の後継ぎ	0
４）その他	1



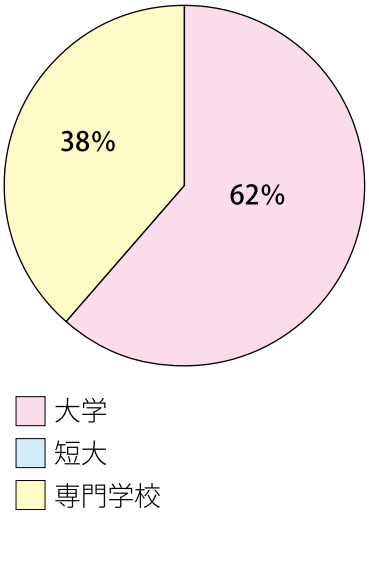
【就職希望者の内訳】

１）建設会社	17
２）建設会社以外の会社	8
３）公務員	0
４）その他	1



【進学希望者の内訳】

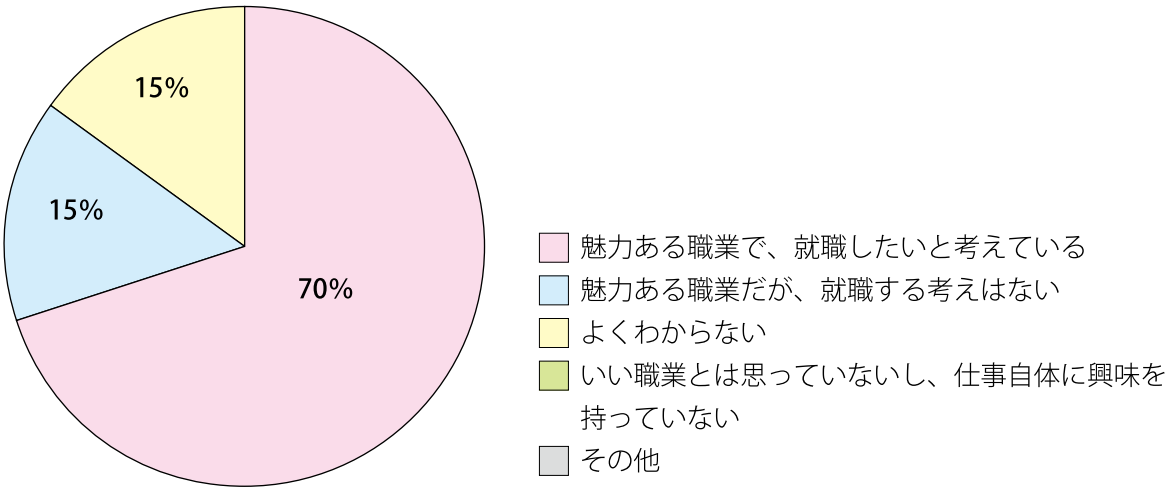
１）大学	8
２）短大	0
３）専門学校	5



＜問３＞　建設業についてあなたはどのように感じていますか

１）魅力ある職業で、就職したいと考えている	28
２）魅力ある職業だが、就職する考えはない	6
３）よくわからない	6
４）いい職業とは思っていないし、仕事自体に興味を持っていない	0
５）その他	0

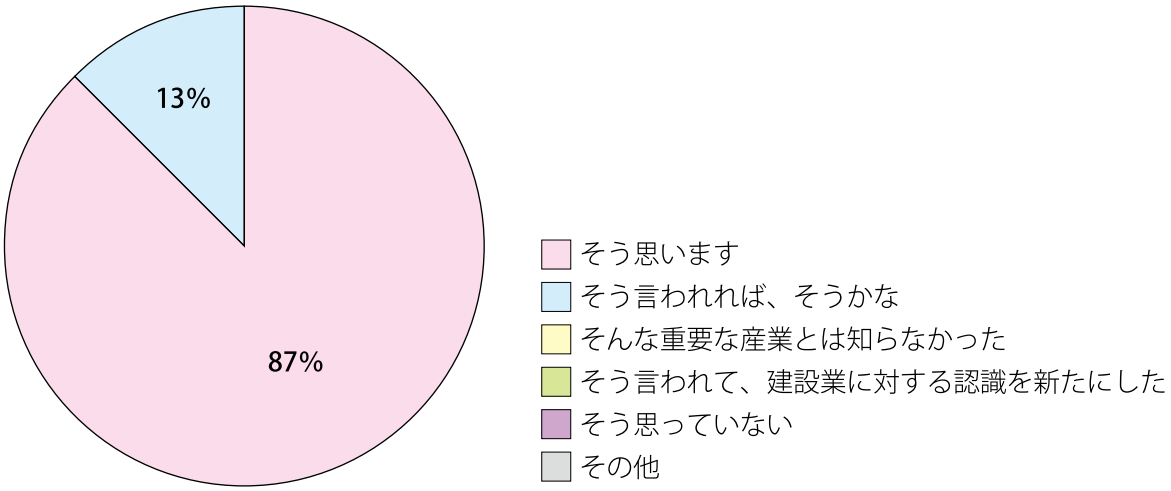
その他の理由



＜問４＞　建設業は国の基幹産業であり、経済発展に重要な役割を果たしていると思いますか

１）そう思います	35
２）そう言われれば、そうかな	5
３）そんな重要な産業とは知らなかった	0
４）そう言われて、建設業に対する認識を新たにした	0
５）そう思っていない	0
６）その他	0

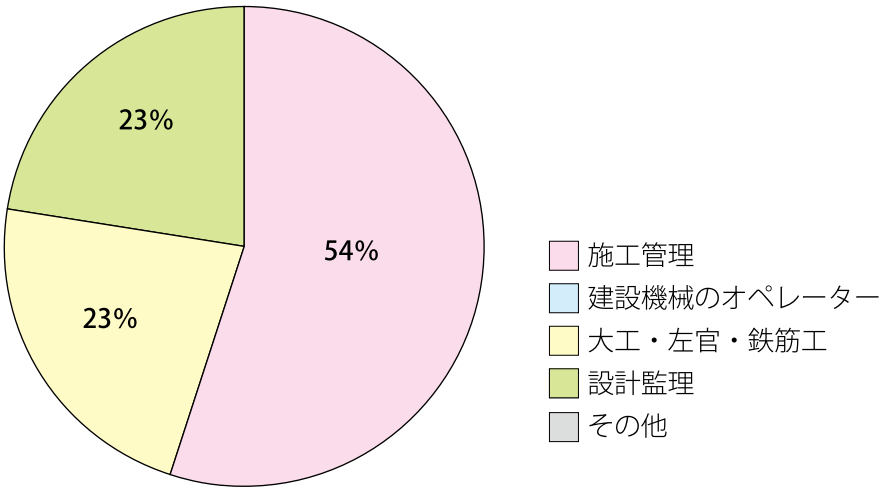
その他の理由



＜問５＞　建設会社にもし就職したら、どんな職種に進みたいですか

１）施工管理	22
２）建設機械のオペレーター	0
３）大工・左官・鉄筋工	9
４）設計監理	9
５）その他	0

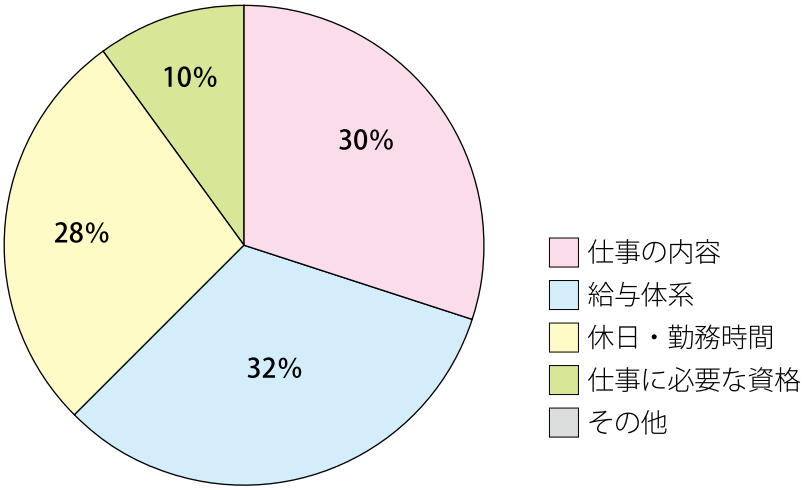
［ その他の希望 ］



＜問６＞　建設会社にもし就職したら会社のどのような情報を知りたいですか

１）仕事の内容	12
２）給与体系	13
３）休日・勤務時間	11
４）仕事に必要な資格	4
５）その他	0

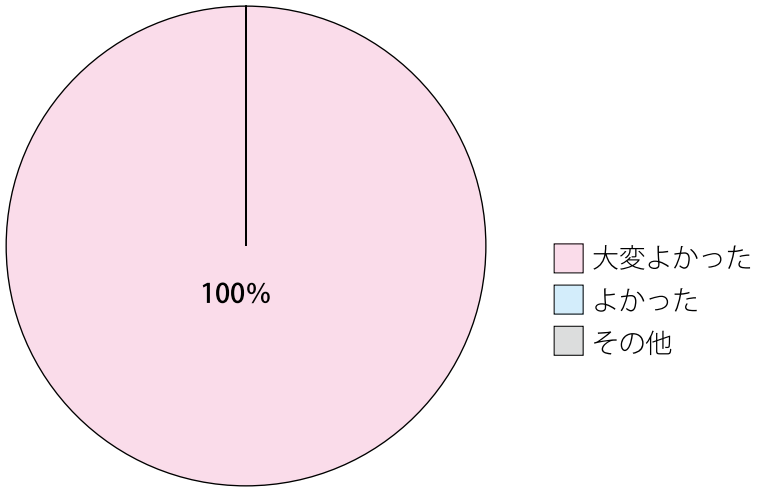
［ 知りたい情報 ］



＜問７＞　今回の実習はどうでしたか

１）大変よかった	40
２）よかった	0
３）その他	0

その他の意見

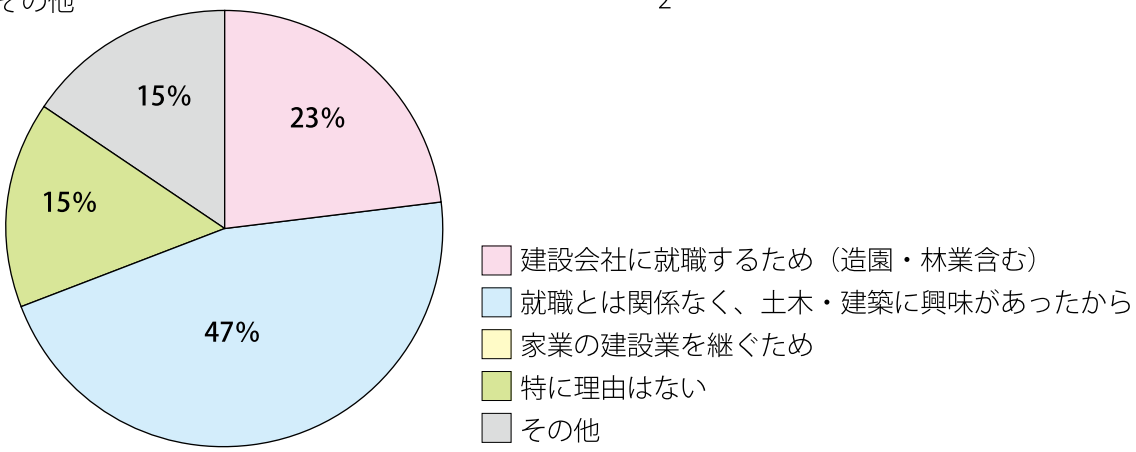


栃木県立那須清峰高等学校　建設工学科（土木コース）

＜問１＞　あなたが在学する高校を選んだ理由

１）建設会社に就職するため（造園・林業含む）	3
２）就職とは関係なく、土木・建築に興味があったから	6
３）家業の建設業を継ぐため	0
４）特に理由はない	2
５）その他	2

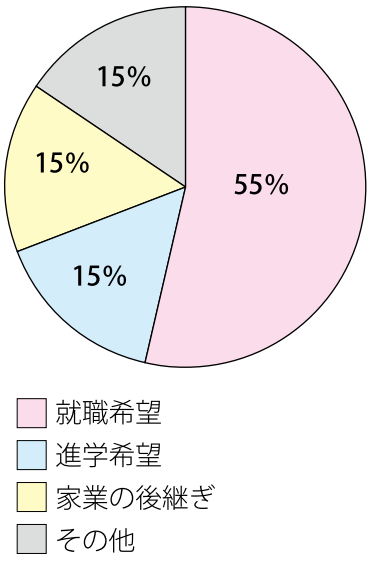
その他の理由



＜問２＞　高校卒業後の進路について

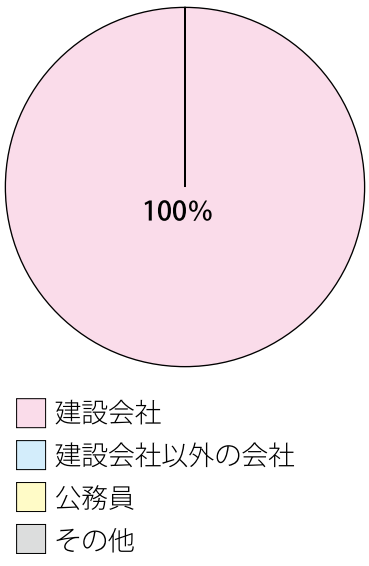
【進路希望の割合】

１）就職希望	7
２）進学希望	2
３）家業の後継ぎ	2
４）その他	2



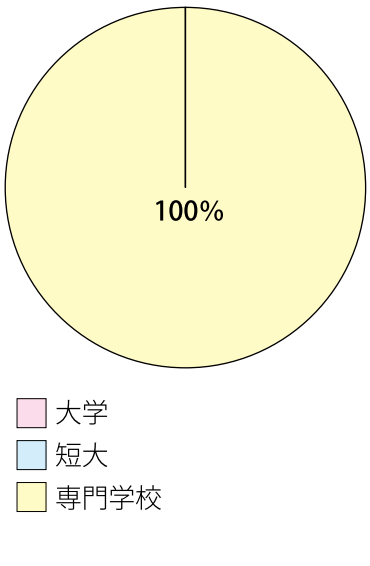
【就職希望者の内訳】

１）建設会社	7
２）建設会社以外の会社	0
３）公務員	0
４）その他	0



【進学希望者の内訳】

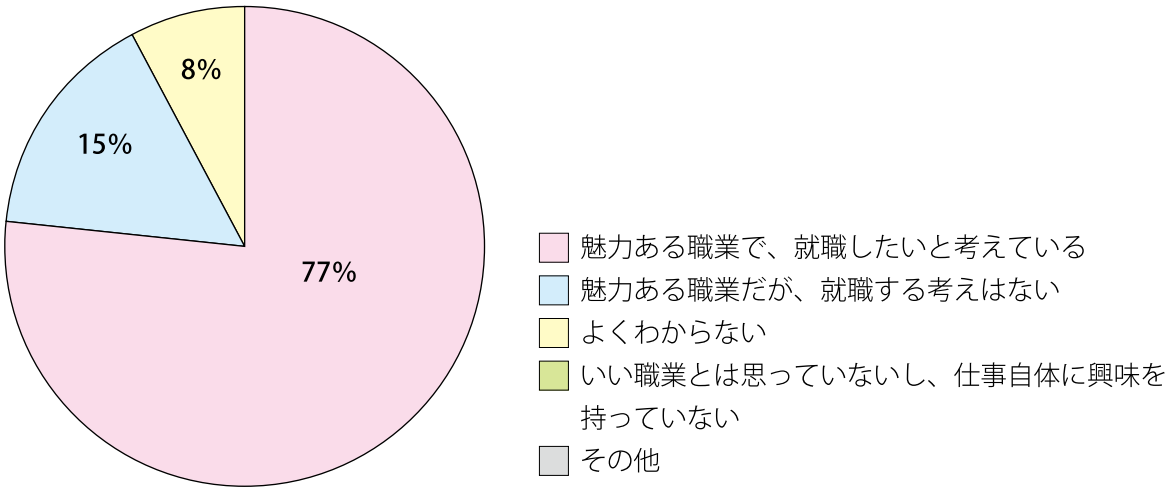
１）大学	0
２）短大	0
３）専門学校	2



＜問３＞　建設業についてあなたはどのように感じていますか

１）魅力ある職業で、就職したいと考えている	10
２）魅力ある職業だが、就職する考えはない	2
３）よくわからない	1
４）いい職業とは思っていないし、仕事自体に興味を持っていない	0
５）その他	0

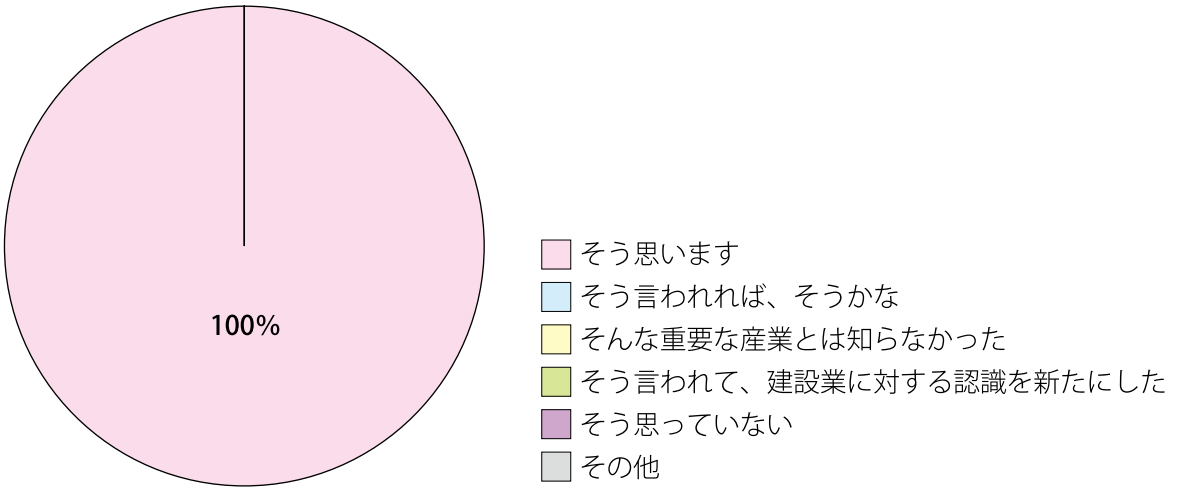
その他の理由



＜問４＞　建設業は国の基幹産業であり、経済発展に重要な役割を果たしていると思いますか

１）そう思います	13
２）そう言われれば、そうかな	0
３）そんな重要な産業とは知らなかった	0
４）そう言われて、建設業に対する認識を新たにした	0
５）そう思っていない	0
６）その他	0

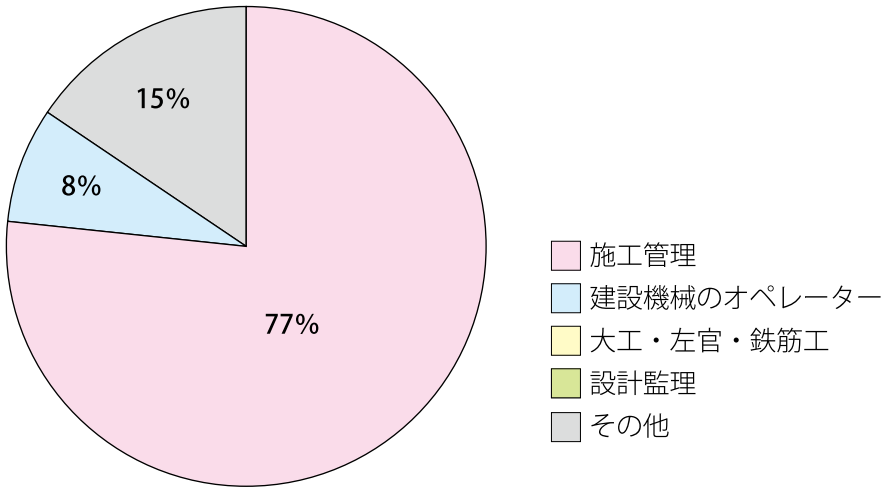
その他の理由



＜問５＞　建設会社にもし就職したら、どんな職種に進みたいですか

1）施工管理	10
2）建設機械のオペレーター	1
3）大工・左官・鉄筋工	0
4）設計監理	0
5）その他	2

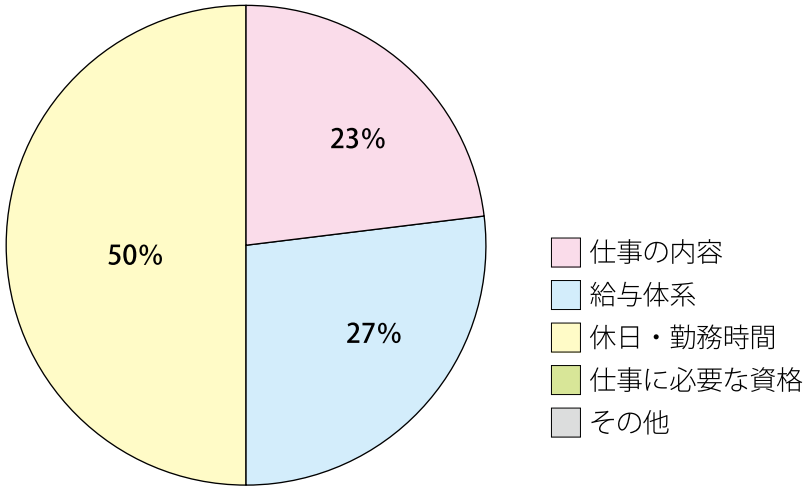
その他の希望



＜問６＞　建設会社にもし就職したら会社のどのような情報を知りたいですか

1）仕事の内容	6
2）給与体系	7
3）休日・勤務時間	13
4）仕事に必要な資格	0
5）その他	0

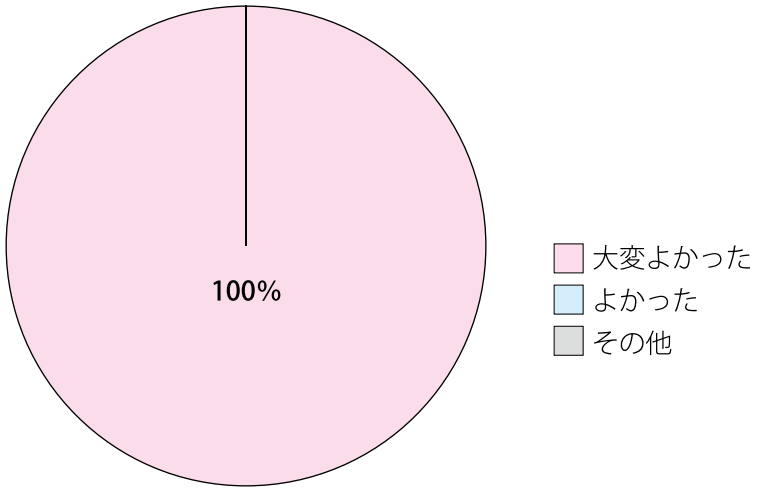
知りたい情報
※複数回答あり



<問７>　今回の実習はどうでしたか

１）大変よかった	13
２）よかった	0
３）その他	0

［　その他の意見　］

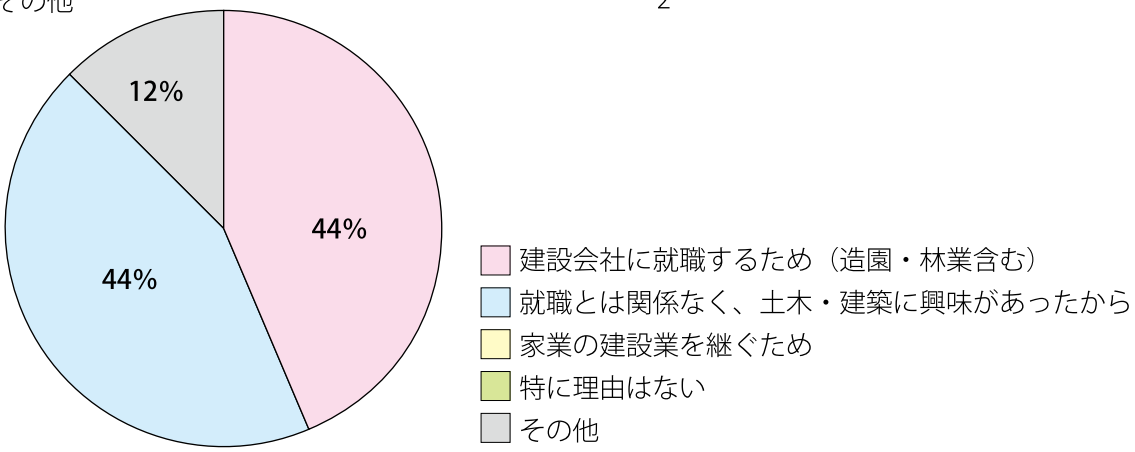


栃木県立那須清峰高等学校　建設工学科（建築コース）

＜問１＞　あなたが在学する高校を選んだ理由

１）建設会社に就職するため（造園・林業含む）	7
２）就職とは関係なく、土木・建築に興味があったから	7
３）家業の建設業を継ぐため	0
４）特に理由はない	0
５）その他	2

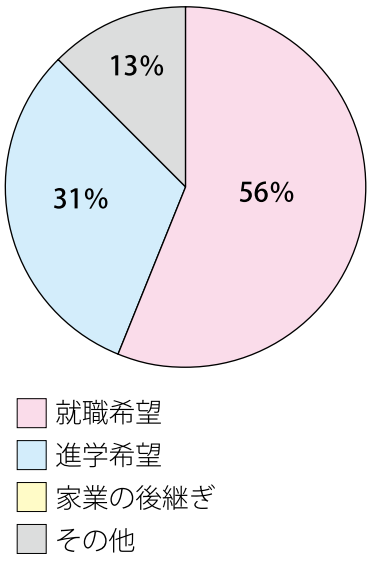
その他の理由
- 製図・CADがあったため
- 進路が決まっていなかった



＜問２＞　高校卒業後の進路について

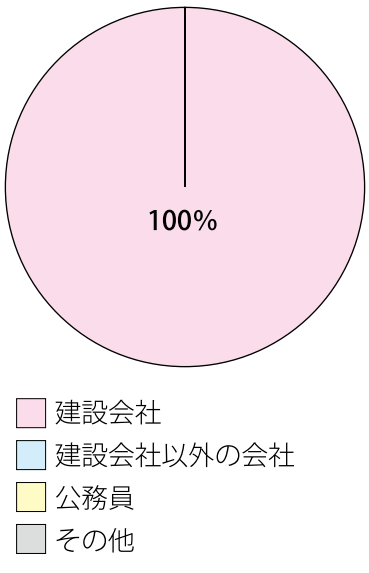
【進路希望の割合】

１）就職希望	9
２）進学希望	5
３）家業の後継ぎ	0
４）その他	2



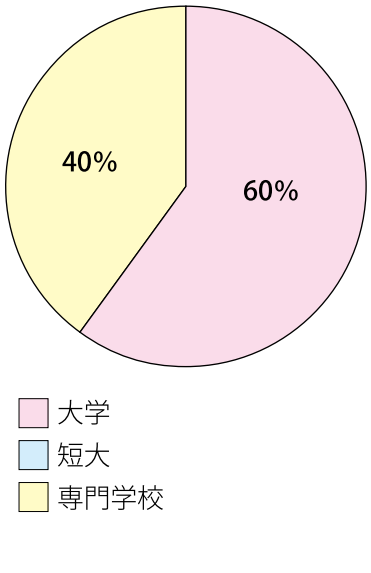
【就職希望者の内訳】

１）建設会社	9
２）建設会社以外の会社	0
３）公務員	0
４）その他	0



【進学希望者の内訳】

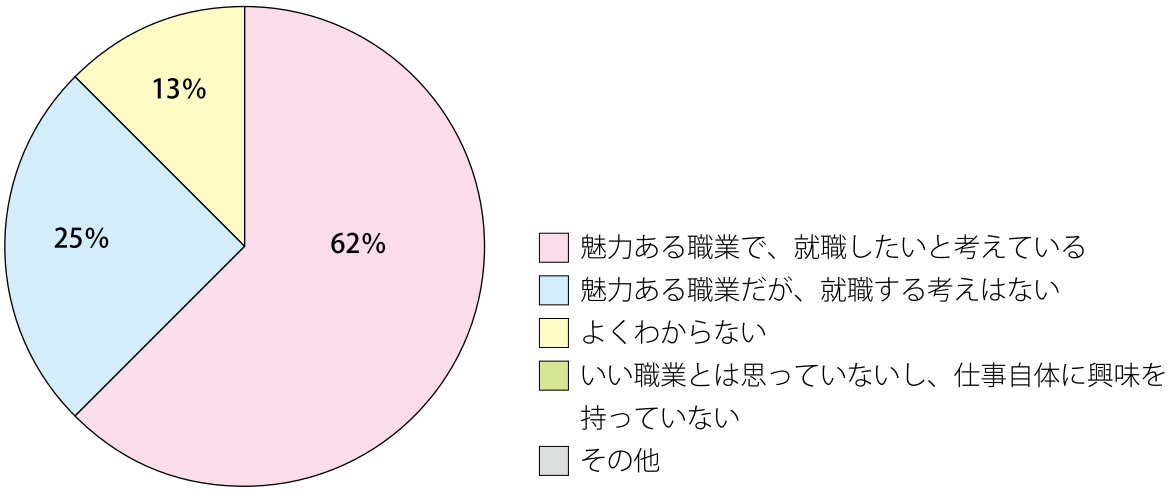
１）大学	3
２）短大	0
３）専門学校	2



＜問３＞　建設業についてあなたはどのように感じていますか

１）魅力ある職業で、就職したいと考えている	10
２）魅力ある職業だが、就職する考えはない	4
３）よくわからない	2
４）いい職業とは思っていないし、仕事自体に興味を持っていない	0
５）その他	0

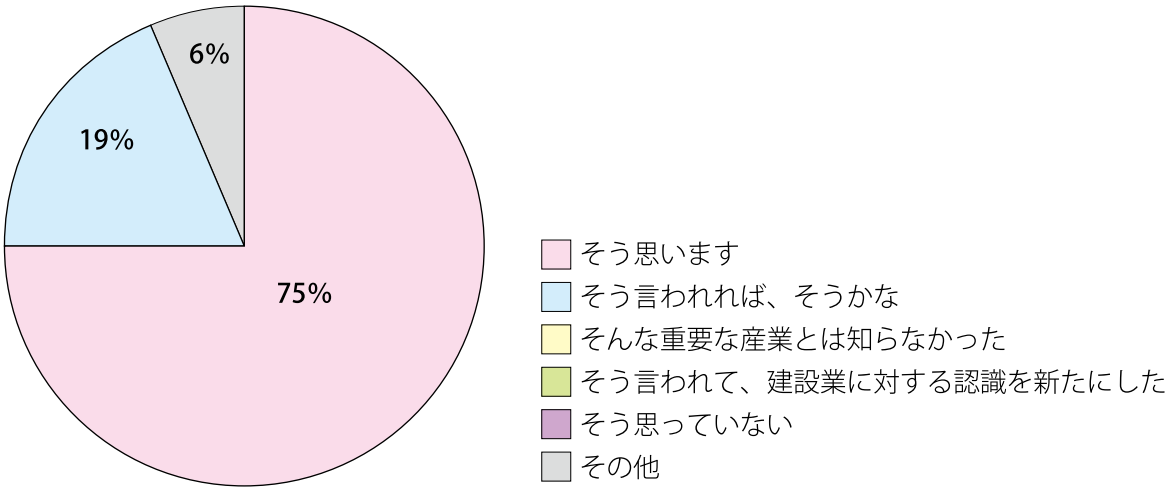
その他の理由



＜問４＞　建設業は国の基幹産業であり、経済発展に重要な役割を果たしていると思いますか

１）そう思います	12
２）そう言われれば、そうかな	3
３）そんな重要な産業とは知らなかった	0
４）そう言われて、建設業に対する認識を新たにした	0
５）そう思っていない	0
６）その他	1

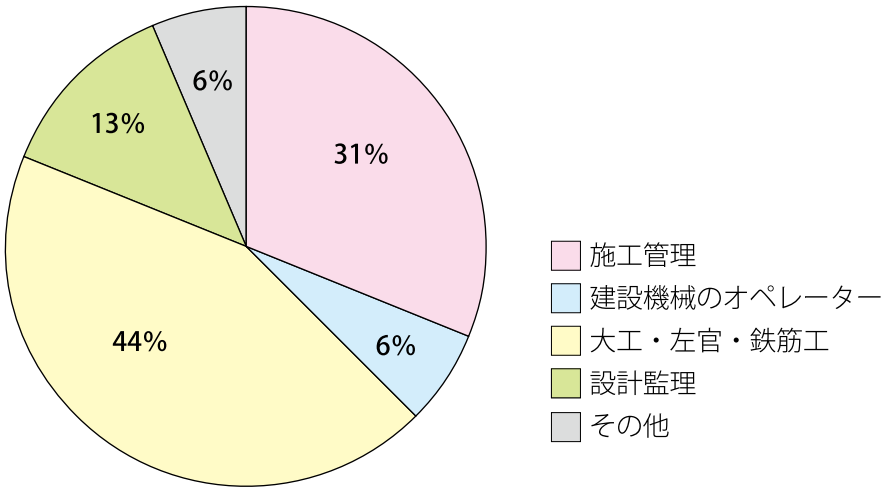
その他の理由



＜問５＞　建設会社にもし就職したら、どんな職種に進みたいですか

1）施工管理	5
2）建設機械のオペレーター	1
3）大工・左官・鉄筋工	7
4）設計監理	2
5）その他	1

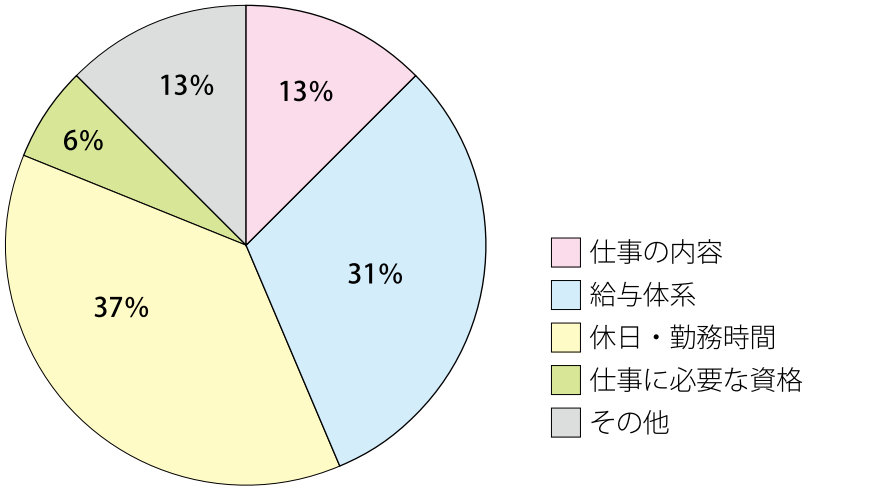
その他の希望
・営業事務



＜問６＞　建設会社にもし就職したら会社のどのような情報を知りたいですか

1）仕事の内容	2
2）給与体系	5
3）休日・勤務時間	6
4）仕事に必要な資格	1
5）その他	2

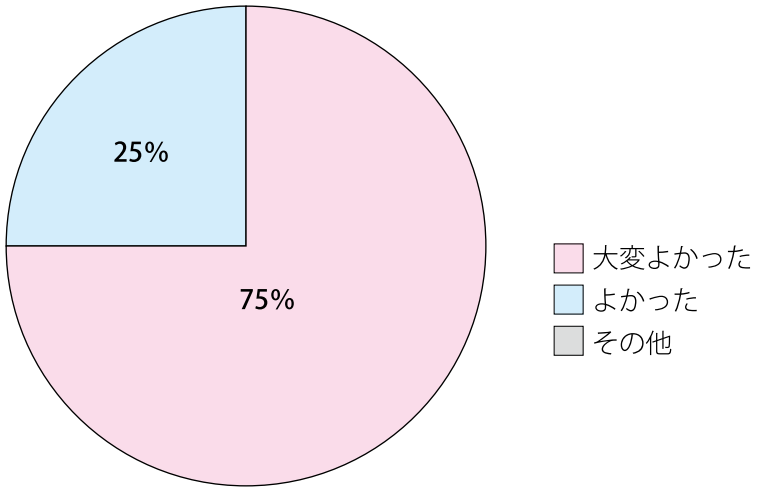
知りたい情報
・会社の雰囲気
・人間関係



<問７>　今回の実習はどうでしたか

１）大変よかった	12
２）よかった	4
３）その他	0

［　その他の意見　］

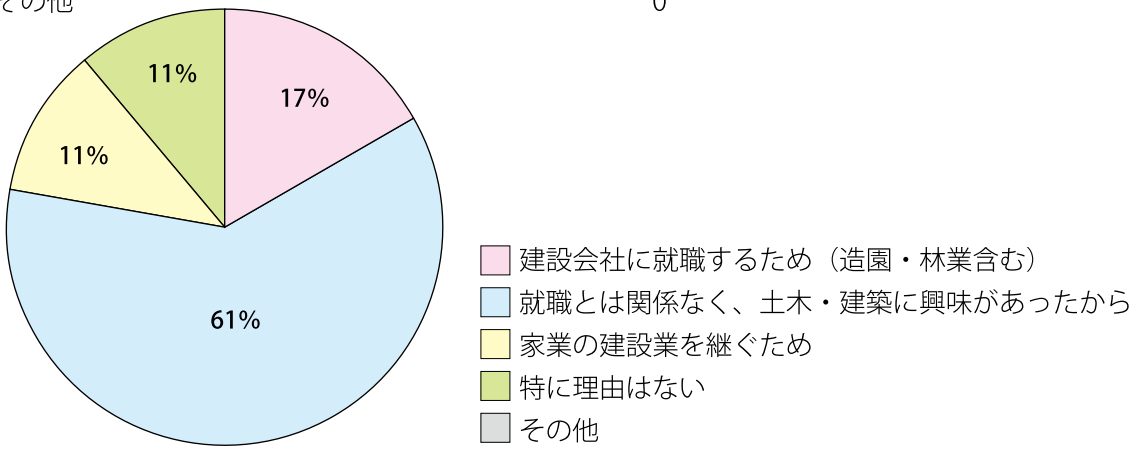


栃木県立真岡工業高等学校　建設科（土木コース）

＜問１＞　あなたが在学する高校を選んだ理由

１）建設会社に就職するため（造園・林業含む）	3
２）就職とは関係なく、土木・建築に興味があったから	11
３）家業の建設業を継ぐため	2
４）特に理由はない	2
５）その他	0

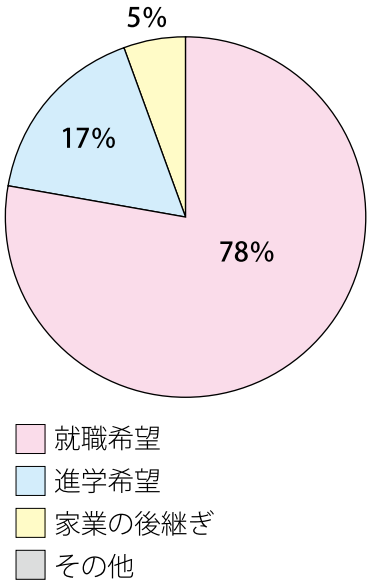
その他の理由



＜問２＞　高校卒業後の進路について

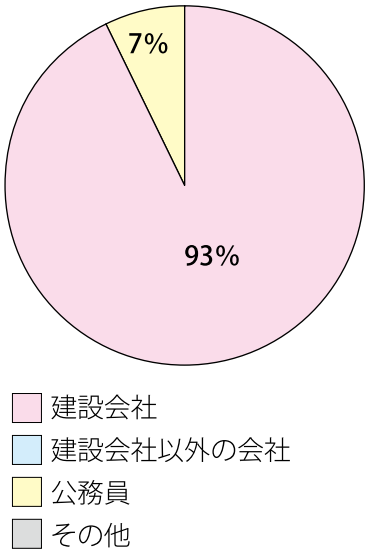
【進路希望の割合】

１）就職希望	14
２）進学希望	3
３）家業の後継ぎ	1
４）その他	0



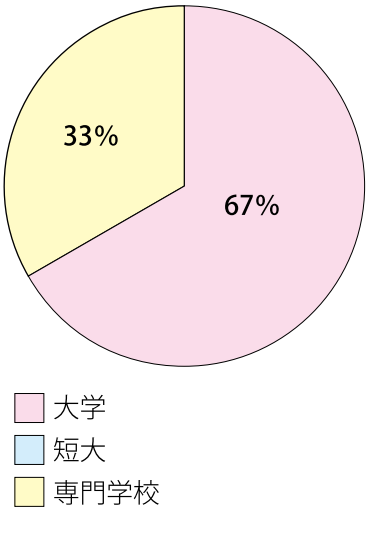
【就職希望者の内訳】

１）建設会社	13
２）建設会社以外の会社	0
３）公務員	1
４）その他	0



【進学希望者の内訳】

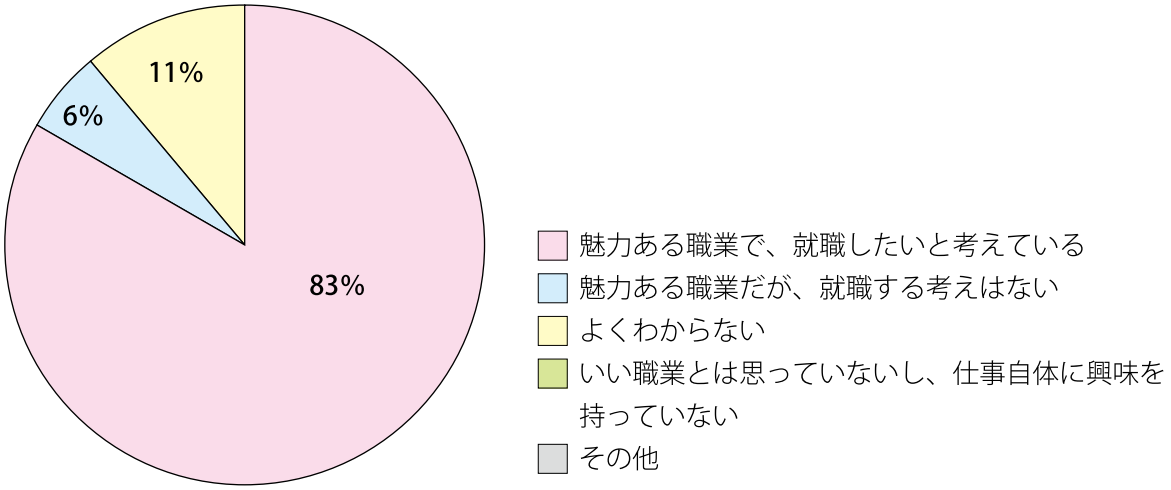
１）大学	2
２）短大	0
３）専門学校	1



＜問３＞　建設業についてあなたはどのように感じていますか

1）魅力ある職業で、就職したいと考えている	15
2）魅力ある職業だが、就職する考えはない	1
3）よくわからない	2
4）いい職業とは思っていないし、仕事自体に興味を持っていない	0
5）その他	0

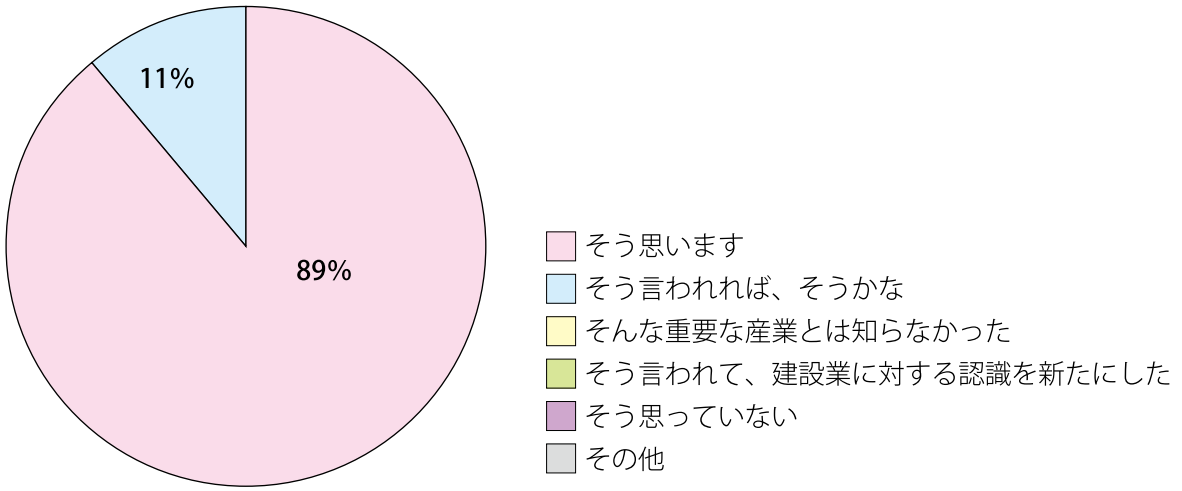
その他の理由



＜問４＞　建設業は国の基幹産業であり、経済発展に重要な役割を果たしていると思いますか

1）そう思います	16
2）そう言われれば、そうかな	2
3）そんな重要な産業とは知らなかった	0
4）そう言われて、建設業に対する認識を新たにした	0
5）そう思っていない	0
6）その他	0

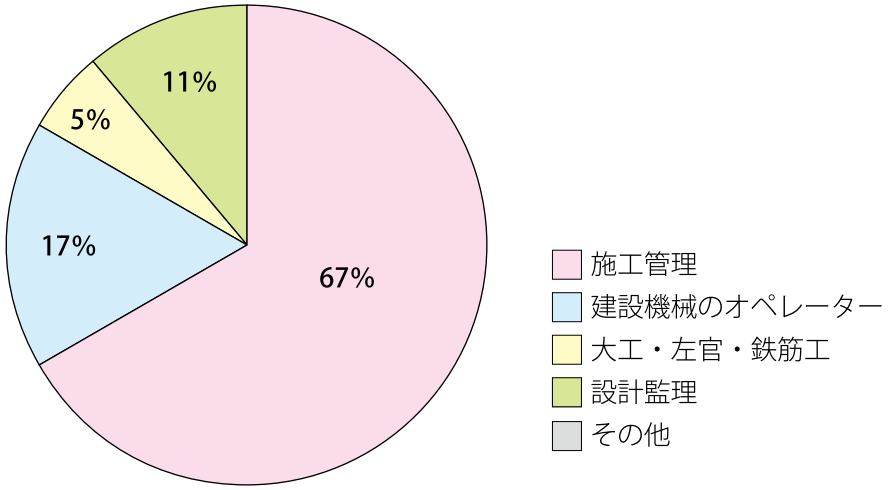
その他の理由



＜問５＞　建設会社にもし就職したら、どんな職種に進みたいですか

１）施工管理	12
２）建設機械のオペレーター	3
３）大工・左官・鉄筋工	1
４）設計監理	2
５）その他	0

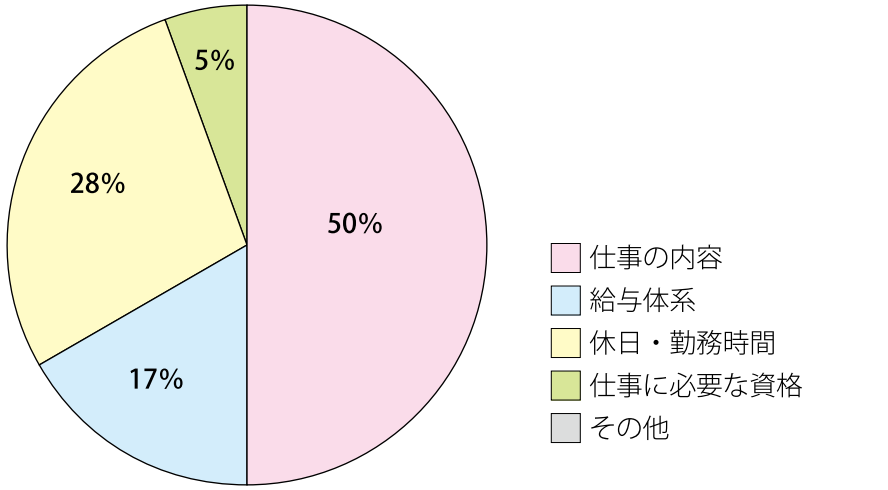
その他の希望



＜問６＞　建設会社にもし就職したら会社のどのような情報を知りたいですか

１）仕事の内容	9
２）給与体系	3
３）休日・勤務時間	5
４）仕事に必要な資格	1
５）その他	0

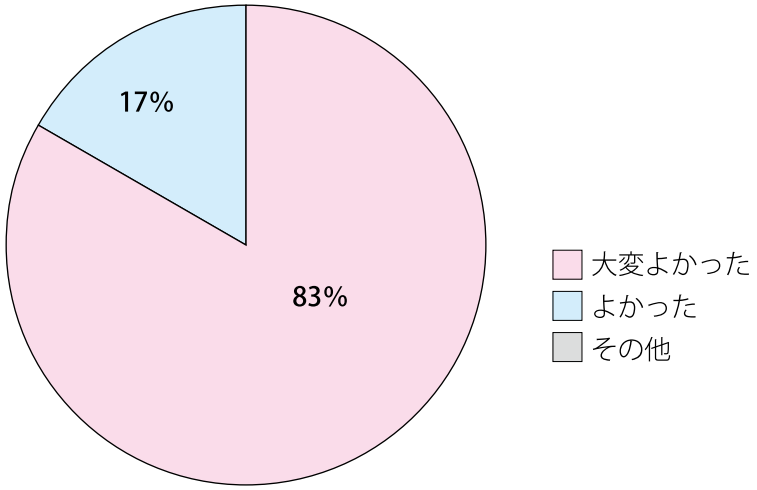
その他知りたい情報



<問７>　今回の実習はどうでしたか

１）大変よかった	15
２）よかった	3
３）その他	0

［　その他の意見　］

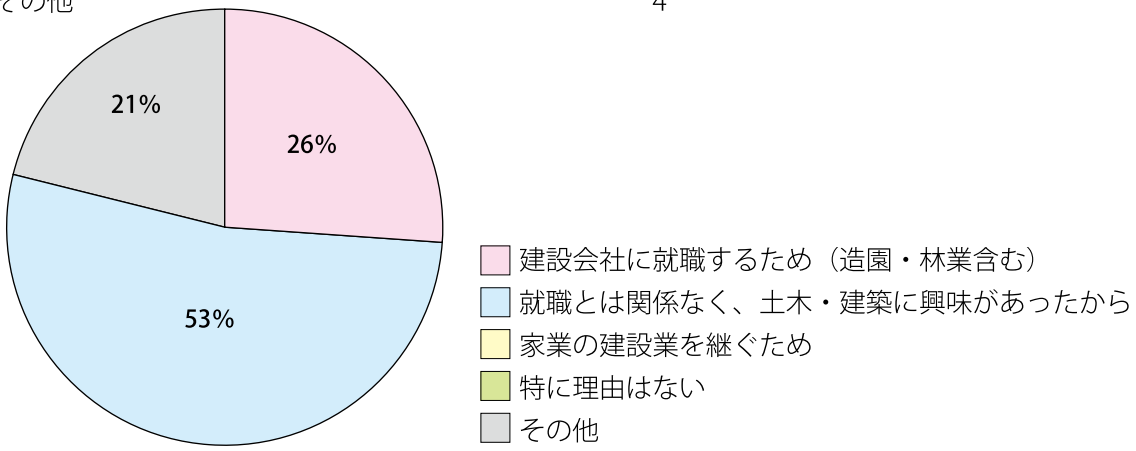


栃木県立真岡工業高等学校　建設科（建築コース）

＜問１＞　あなたが在学する高校を選んだ理由

１）建設会社に就職するため（造園・林業含む）	5
２）就職とは関係なく、土木・建築に興味があったから	10
３）家業の建設業を継ぐため	0
４）特に理由はない	0
５）その他	4

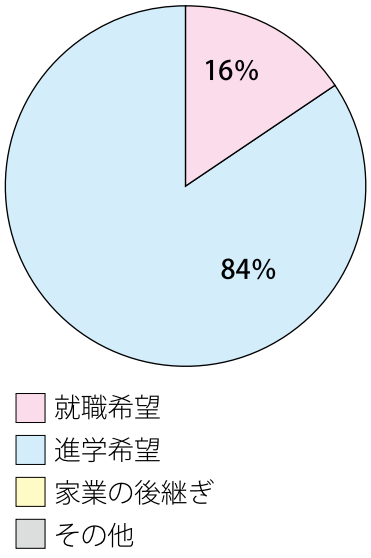
その他の理由
・家が近い



＜問２＞　高校卒業後の進路について

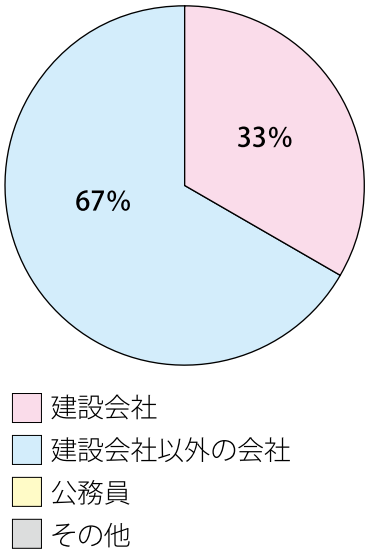
【進路希望の割合】

１）就職希望	3
２）進学希望	16
３）家業の後継ぎ	0
４）その他	0



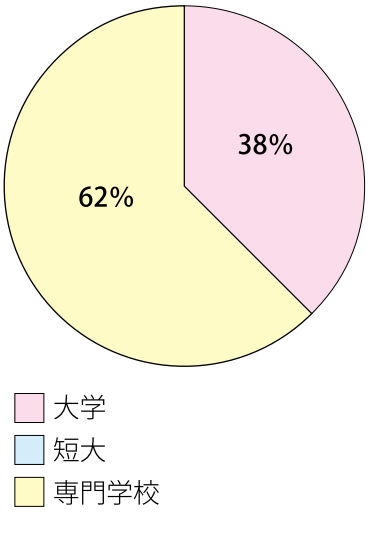
【就職希望者の内訳】

１）建設会社	1
２）建設会社以外の会社	2
３）公務員	0
４）その他	0



【進学希望者の内訳】

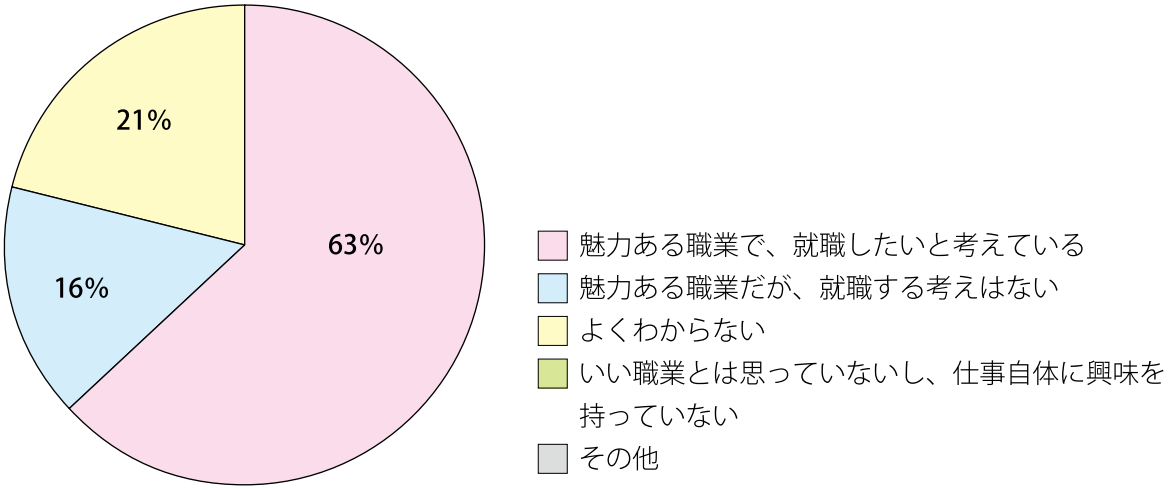
１）大学	6
２）短大	0
３）専門学校	10



＜問３＞　建設業についてあなたはどのように感じていますか

1）魅力ある職業で、就職したいと考えている	12
2）魅力ある職業だが、就職する考えはない	3
3）よくわからない	4
4）いい職業とは思っていないし、仕事自体に興味を持っていない	0
5）その他	0

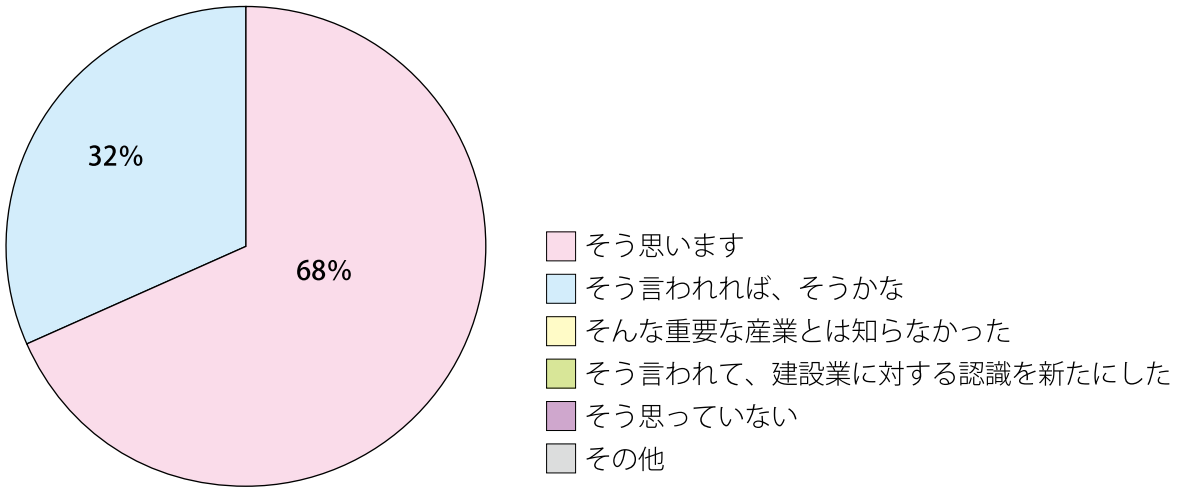
その他の理由



＜問４＞　建設業は国の基幹産業であり、経済発展に重要な役割を果たしていると思いますか

1）そう思います	13
2）そう言われれば、そうかな	6
3）そんな重要な産業とは知らなかった	0
4）そう言われて、建設業に対する認識を新たにした	0
5）そう思っていない	0
6）その他	0

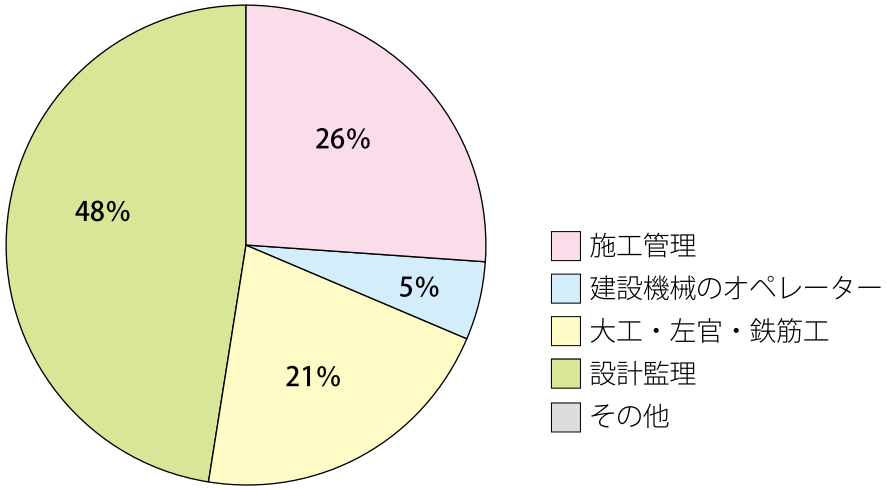
その他の理由



＜問５＞　建設会社にもし就職したら、どんな職種に進みたいですか

１）施工管理	5
２）建設機械のオペレーター	1
３）大工・左官・鉄筋工	4
４）設計監理	9
５）その他	0

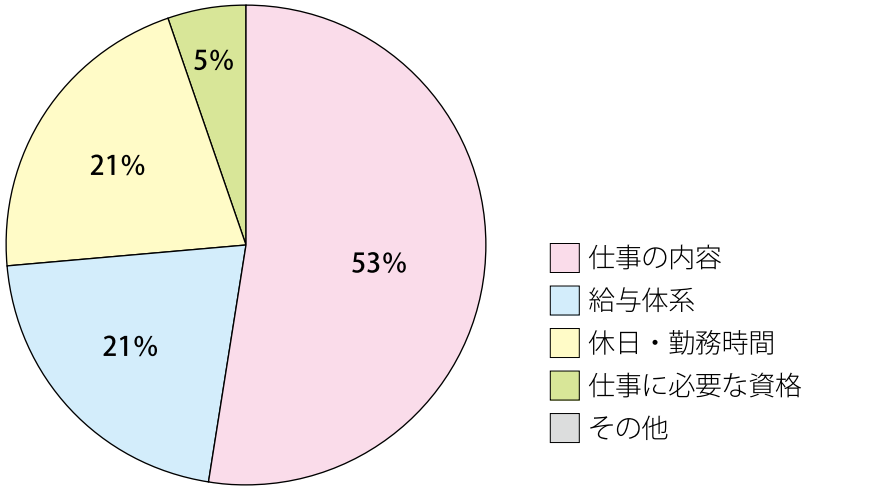
［その他の希望］



＜問６＞　建設会社にもし就職したら会社のどのような情報を知りたいですか

１）仕事の内容	10
２）給与体系	4
３）休日・勤務時間	4
４）仕事に必要な資格	1
５）その他	0

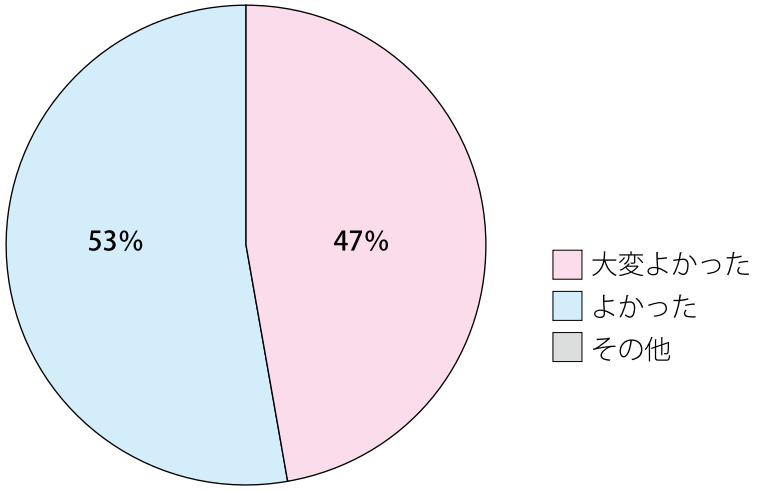
［その他知りたい情報］



<問７>　今回の実習はどうでしたか

１）大変よかった	9
２）よかった	10
３）その他	0

［　その他の意見　］

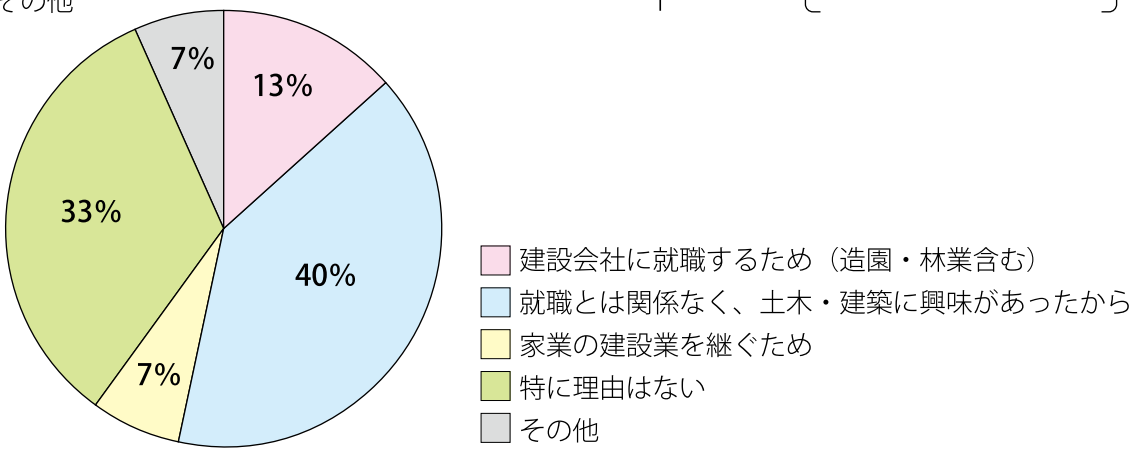


栃木県立今市工業高等学校　建設工学科（土木コース）

＜問１＞　あなたが在学する高校を選んだ理由

１）建設会社に就職するため（造園・林業含む）	2
２）就職とは関係なく、土木・建築に興味があったから	6
３）家業の建設業を継ぐため	1
４）特に理由はない	5
５）その他	1

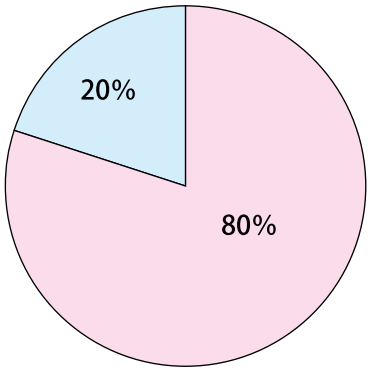
その他の理由
・自宅に近い



＜問２＞　高校卒業後の進路について

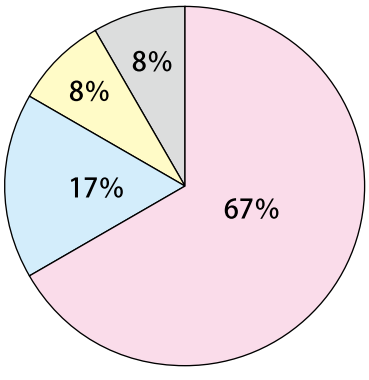
【進路希望の割合】

１）就職希望	12
２）進学希望	3
３）家業の後継ぎ	0
４）その他	0



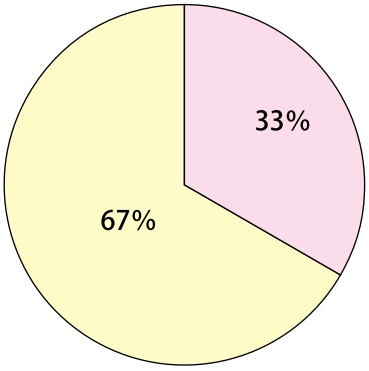
【就職希望者の内訳】

１）建設会社	8
２）建設会社以外の会社	2
３）公務員	1
４）その他	1



【進学希望者の内訳】

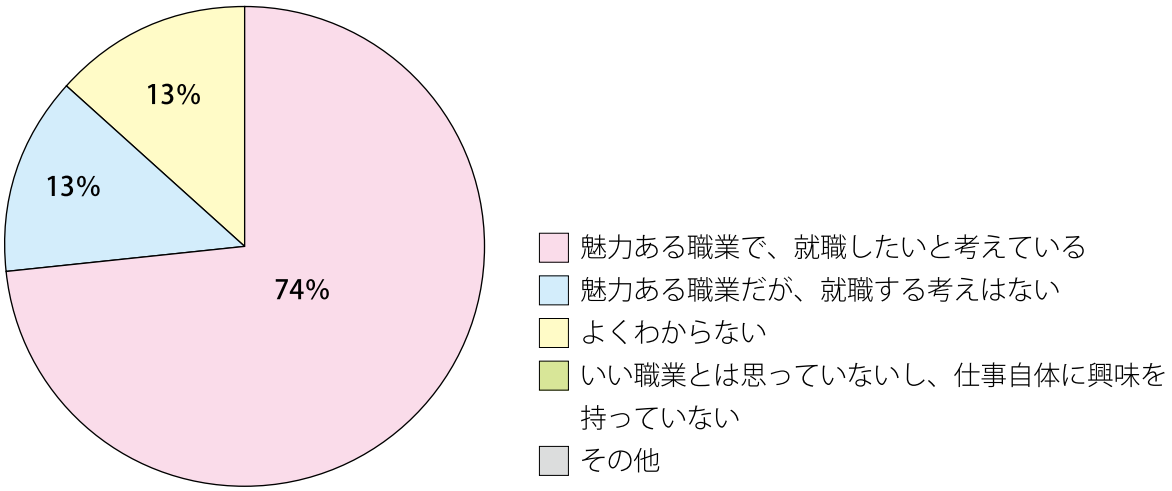
１）大学	1
２）短大	0
３）専門学校	2



＜問３＞　建設業についてあなたはどのように感じていますか

１）魅力ある職業で、就職したいと考えている	11
２）魅力ある職業だが、就職する考えはない	2
３）よくわからない	2
４）いい職業とは思っていないし、仕事自体に興味を持っていない	0
５）その他	0

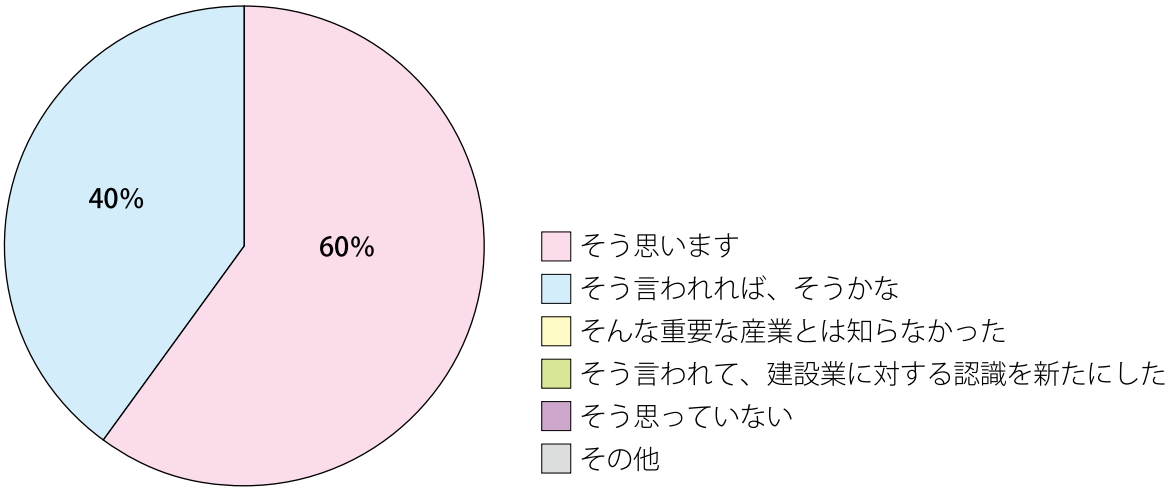
その他の理由



＜問４＞　建設業は国の基幹産業であり、経済発展に重要な役割を果たしていると思いますか

１）そう思います	9
２）そう言われれば、そうかな	6
３）そんな重要な産業とは知らなかった	0
４）そう言われて、建設業に対する認識を新たにした	0
５）そう思っていない	0
６）その他	0

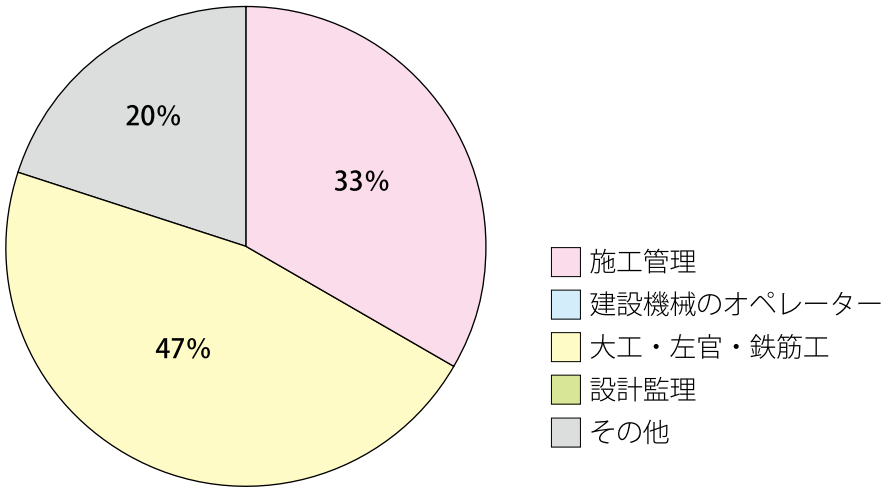
その他の理由



＜問５＞　建設会社にもし就職したら、どんな職種に進みたいですか

1）施工管理	5
2）建設機械のオペレーター	0
3）大工・左官・鉄筋工	7
4）設計監理	0
5）その他	3

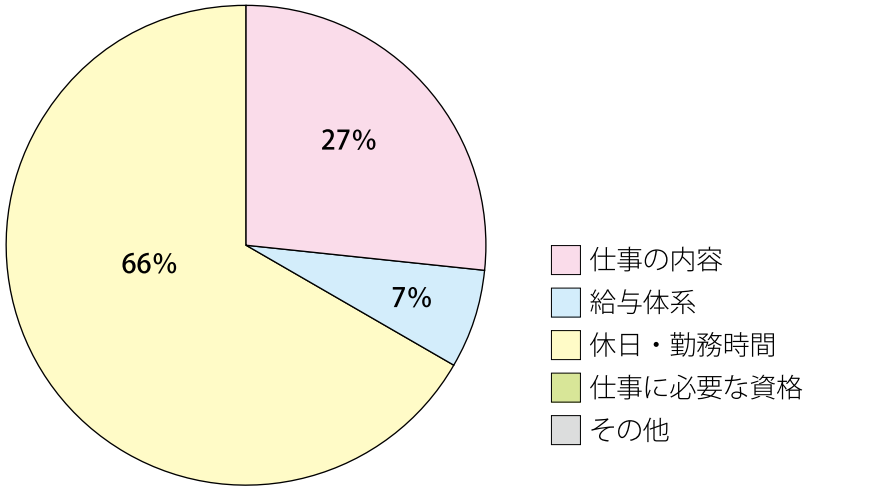
その他の希望
・わからない
・測量会社



＜問６＞　建設会社にもし就職したら会社のどのような情報を知りたいですか

1）仕事の内容	4
2）給与体系	1
3）休日・勤務時間	10
4）仕事に必要な資格	0
5）その他	0

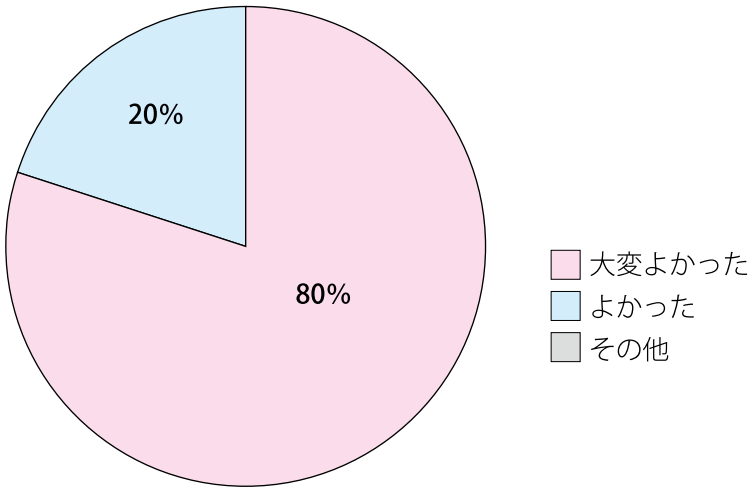
知りたい情報



＜問７＞　今回の実習はどうでしたか

１）大変よかった	12
２）よかった	3
３）その他	0

その他の意見

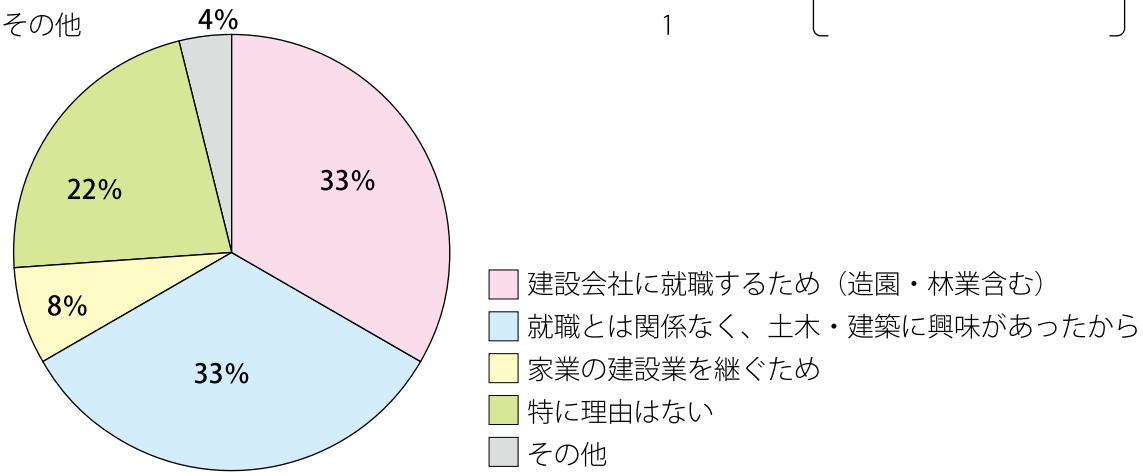


栃木県立今市工業高等学校　建設工学科（建築コース）

＜問１＞　あなたが在学する高校を選んだ理由

１）建設会社に就職するため（造園・林業含む）	9
２）就職とは関係なく、土木・建築に興味があったから	9
３）家業の建設業を継ぐため	2
４）特に理由はない	6
５）その他	1

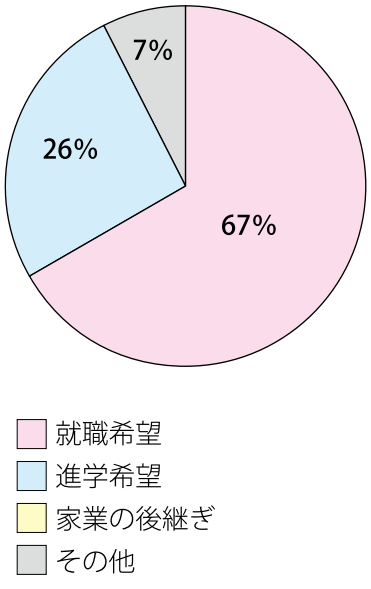
その他の理由
・建築の知識を付けたい



＜問２＞　高校卒業後の進路について

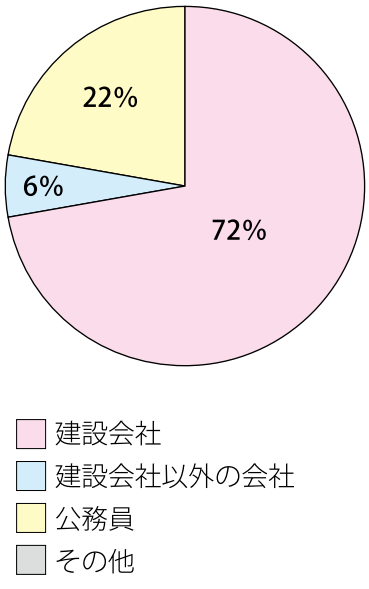
【進路希望の割合】

１）就職希望	18
２）進学希望	7
３）家業の後継ぎ	0
４）その他	2



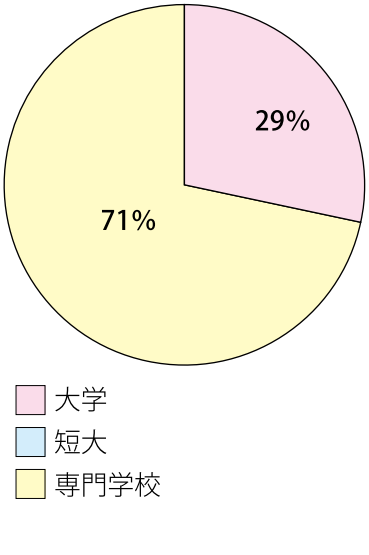
【就職希望者の内訳】

１）建設会社	13
２）建設会社以外の会社	1
３）公務員	4
４）その他	0



【進学希望者の内訳】

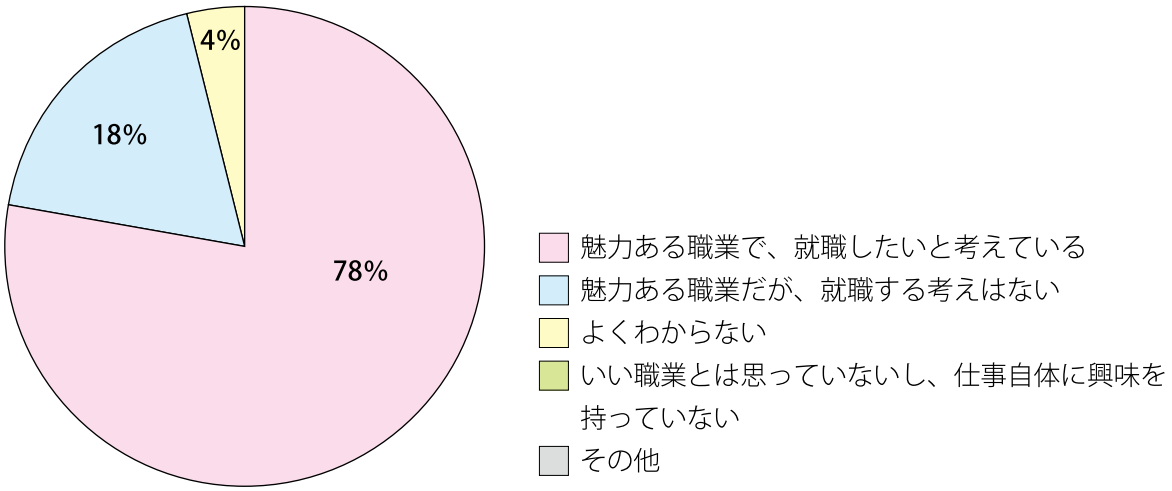
１）大学	2
２）短大	0
３）専門学校	5



＜問３＞　建設業についてあなたはどのように感じていますか

１）魅力ある職業で、就職したいと考えている	21
２）魅力ある職業だが、就職する考えはない	5
３）よくわからない	1
４）いい職業とは思っていないし、仕事自体に興味を持っていない	0
５）その他	0

その他の理由

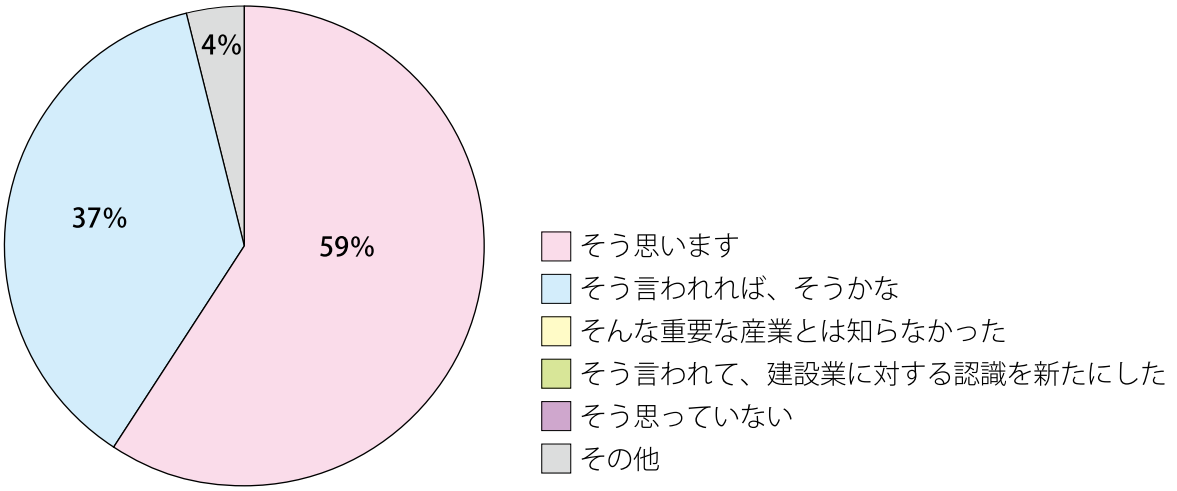


＜問４＞　建設業は国の基幹産業であり、経済発展に重要な役割を果たしていると思いますか

１）そう思います	16
２）そう言われれば、そうかな	10
３）そんな重要な産業とは知らなかった	0
４）そう言われて、建設業に対する認識を新たにした	0
５）そう思っていない	0
６）その他	1

その他の理由

・わからない

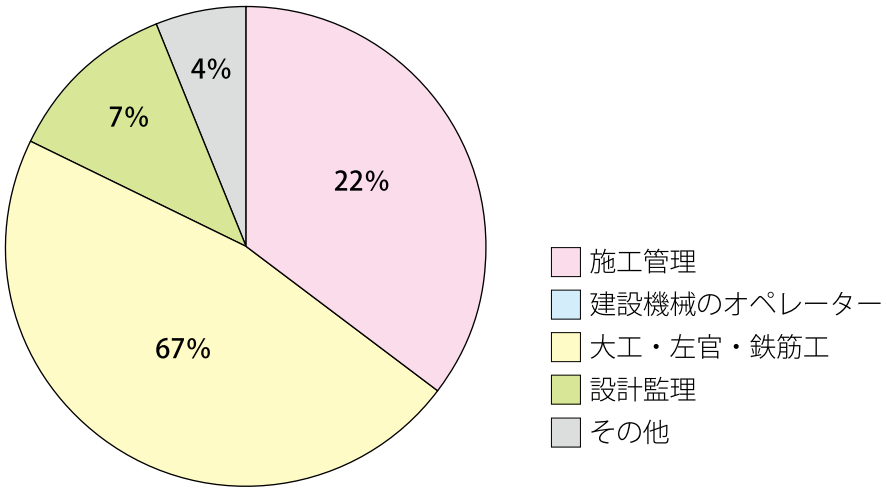


＜問５＞　建設会社にもし就職したら、どんな職種に進みたいですか

1）施工管理	6
2）建設機械のオペレーター	0
3）大工・左官・鉄筋工	18
4）設計監理	2
5）その他	1

その他の希望

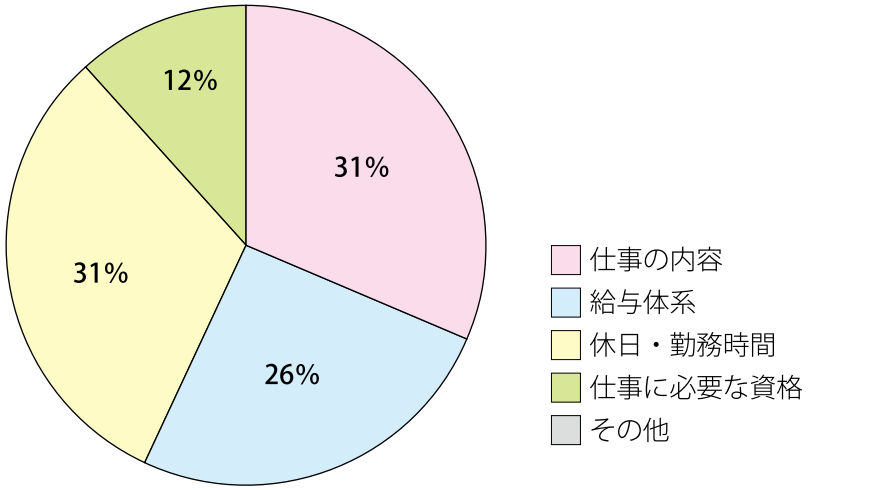
・インテリア
　デザイナー



＜問６＞　建設会社にもし就職したら会社のどのような情報を知りたいですか

1）仕事の内容	11
2）給与体系	9
3）休日・勤務時間	11
4）仕事に必要な資格	4
5）その他	0

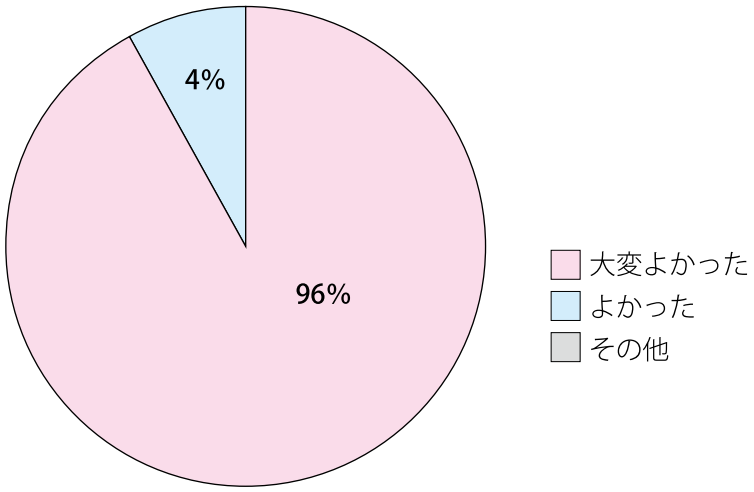
知りたい情報
※複数回答あり



＜問７＞　今回の実習はどうでしたか

１）大変よかった	26
２）よかった	1
３）その他	0

その他の意見

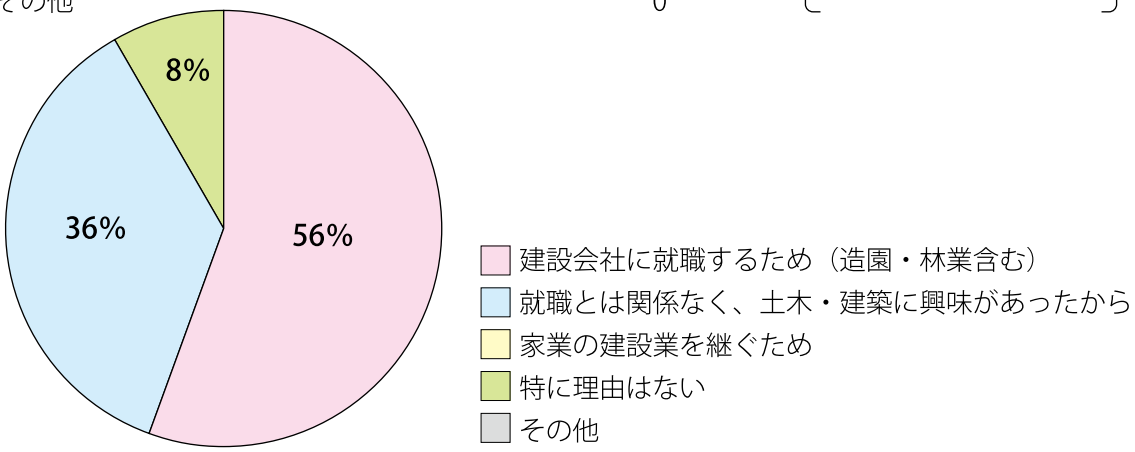


栃木県立小山北桜高等学校　建設システム科

＜問１＞　あなたが在学する高校を選んだ理由

１）建設会社に就職するため（造園・林業含む）	20
２）就職とは関係なく、土木・建築に興味があったから	13
３）家業の建設業を継ぐため	0
４）特に理由はない	3
５）その他	0

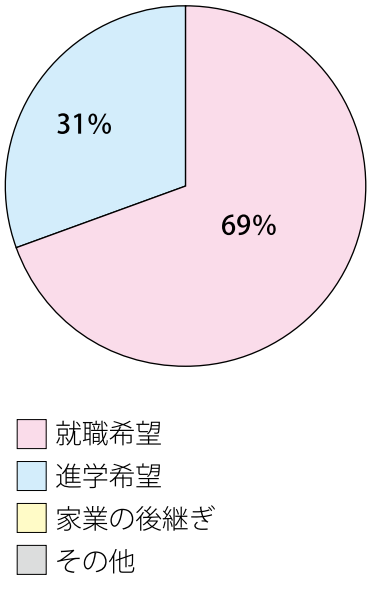
その他の理由



＜問２＞　高校卒業後の進路について

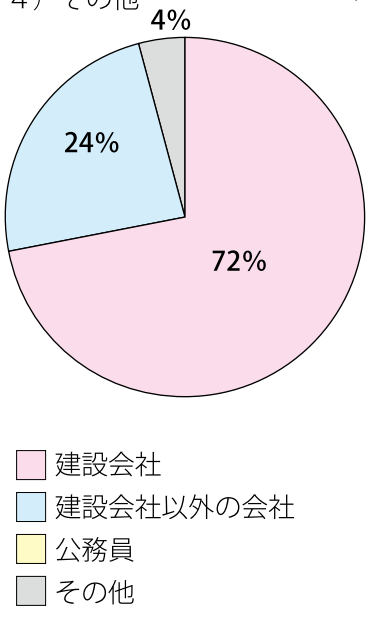
【進路希望の割合】

１）就職希望	25
２）進学希望	11
３）家業の後継ぎ	0
４）その他	0



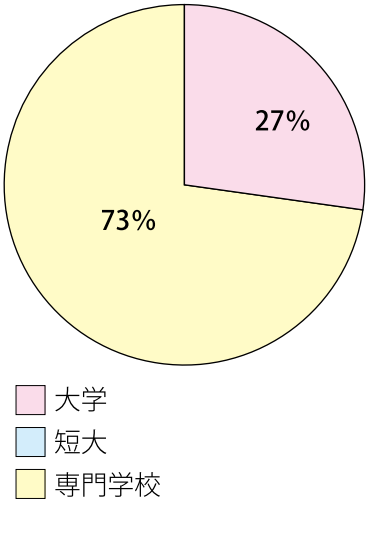
【就職希望者の内訳】

１）建設会社	18
２）建設会社以外の会社	6
３）公務員	0
４）その他	1



【進学希望者の内訳】

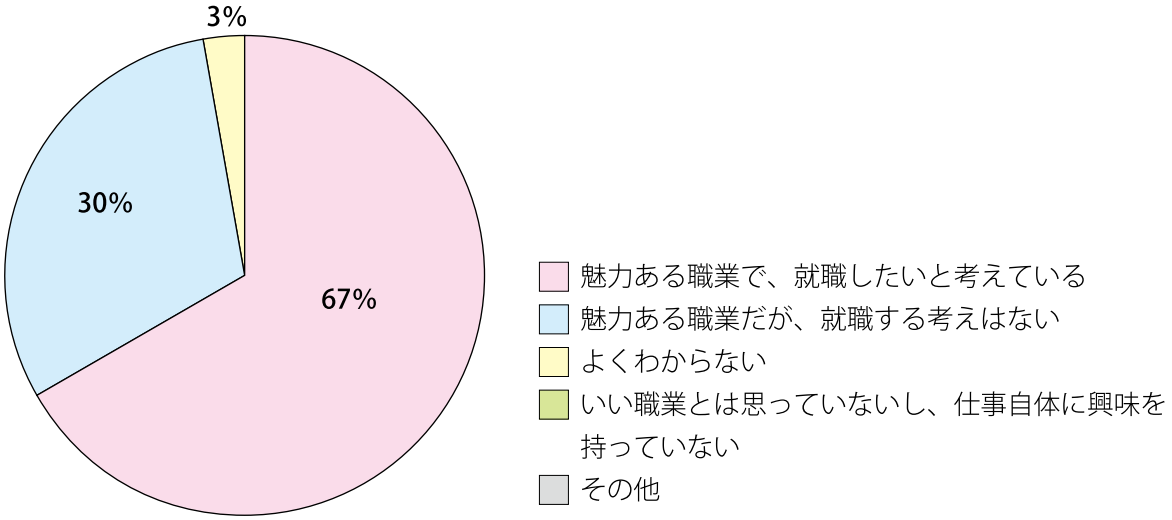
１）大学	3
２）短大	0
３）専門学校	8



＜問３＞　建設業についてあなたはどのように感じていますか

1）魅力ある職業で、就職したいと考えている	24
2）魅力ある職業だが、就職する考えはない	11
3）よくわからない	1
4）いい職業とは思っていないし、仕事自体に興味を持っていない	0
5）その他	0

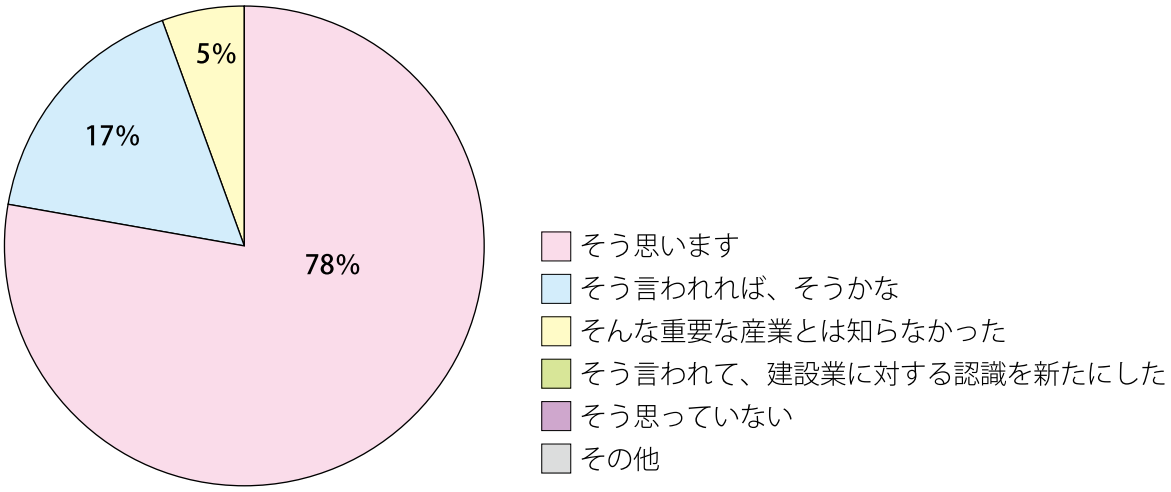
その他の理由



＜問４＞　建設業は国の基幹産業であり、経済発展に重要な役割を果たしていると思いますか

1）そう思います	28
2）そう言われれば、そうかな	6
3）そんな重要な産業とは知らなかった	2
4）そう言われて、建設業に対する認識を新たにした	0
5）そう思っていない	0
6）その他	0

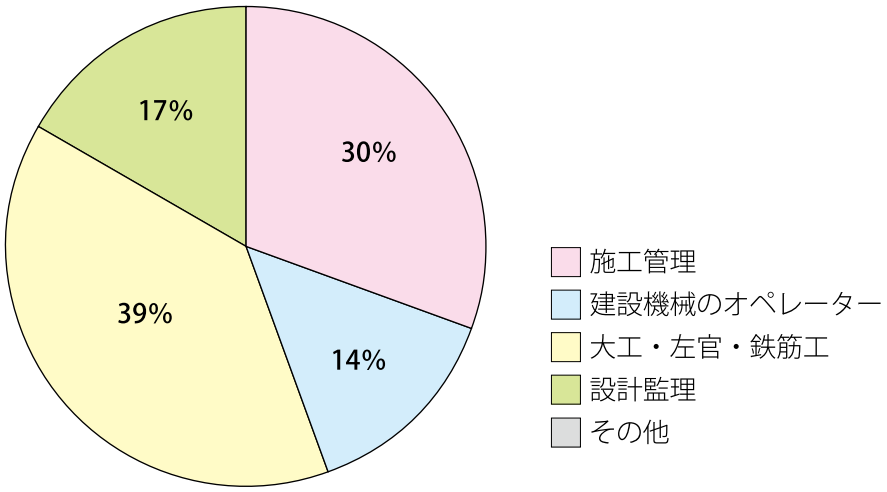
その他の理由



＜問５＞　建設会社にもし就職したら、どんな職種に進みたいですか

１）施工管理	11
２）建設機械のオペレーター	5
３）大工・左官・鉄筋工	14
４）設計監理	6
５）その他	0

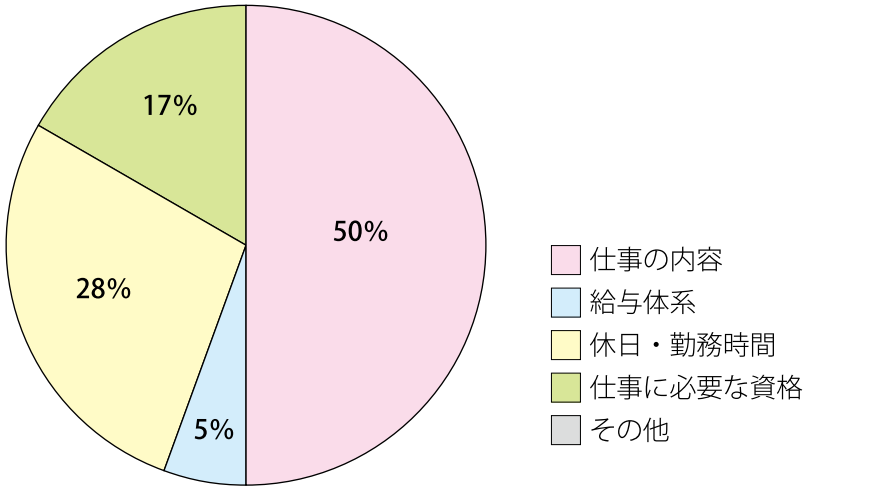
その他の希望



＜問６＞　建設会社にもし就職したら会社のどのような情報を知りたいですか

１）仕事の内容	18
２）給与体系	2
３）休日・勤務時間	10
４）仕事に必要な資格	6
５）その他	0

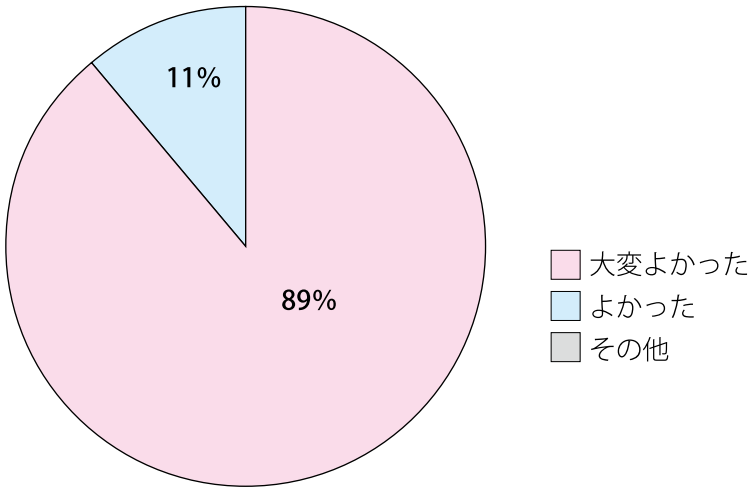
知りたい情報



<問７>　今回の実習はどうでしたか

1）大変よかった	32
2）よかった	4
3）その他	0

その他の意見

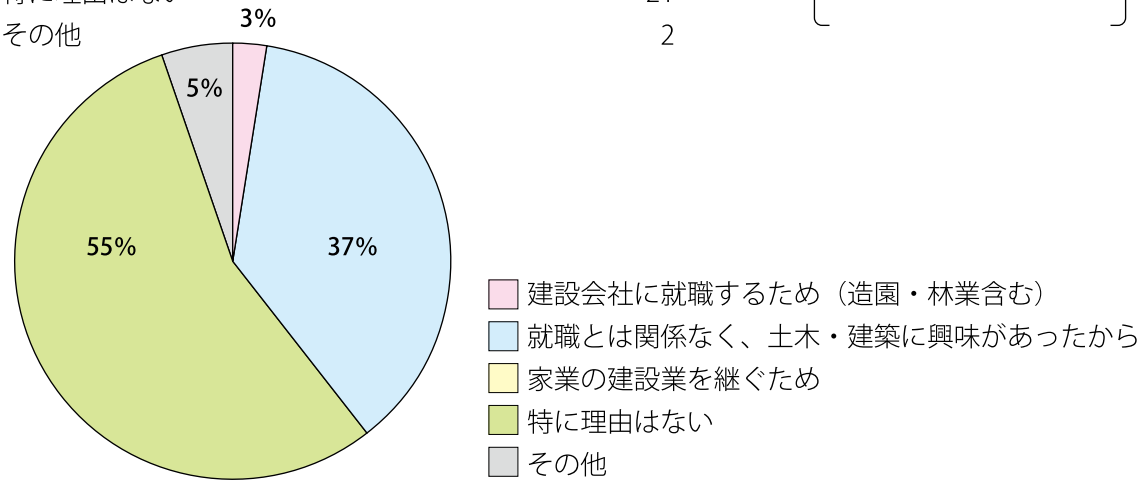


栃木県立栃木農業高等学校　環境デザイン科

＜問１＞　あなたが在学する高校を選んだ理由

１）建設会社に就職するため（造園・林業含む）	1
２）就職とは関係なく、土木・建築に興味があったから	14
３）家業の建設業を継ぐため	0
４）特に理由はない	21
５）その他	2

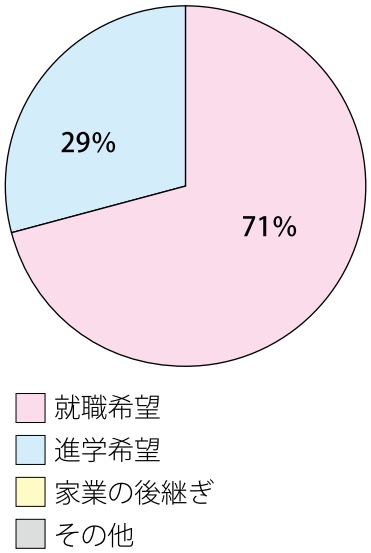
その他の理由



＜問２＞　高校卒業後の進路について

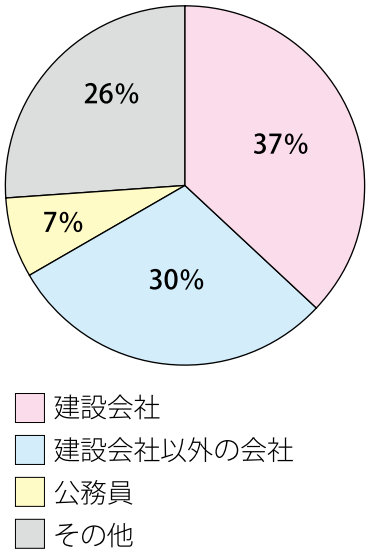
【進路希望の割合】

１）就職希望	27
２）進学希望	11
３）家業の後継ぎ	0
４）その他	0



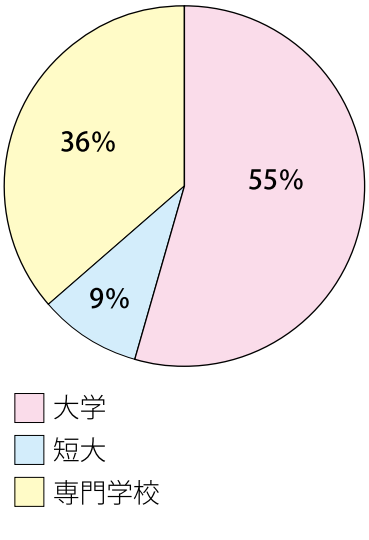
【就職希望者の内訳】

１）建設会社	10
２）建設会社以外の会社	8
３）公務員	2
４）その他	7



【進学希望者の内訳】

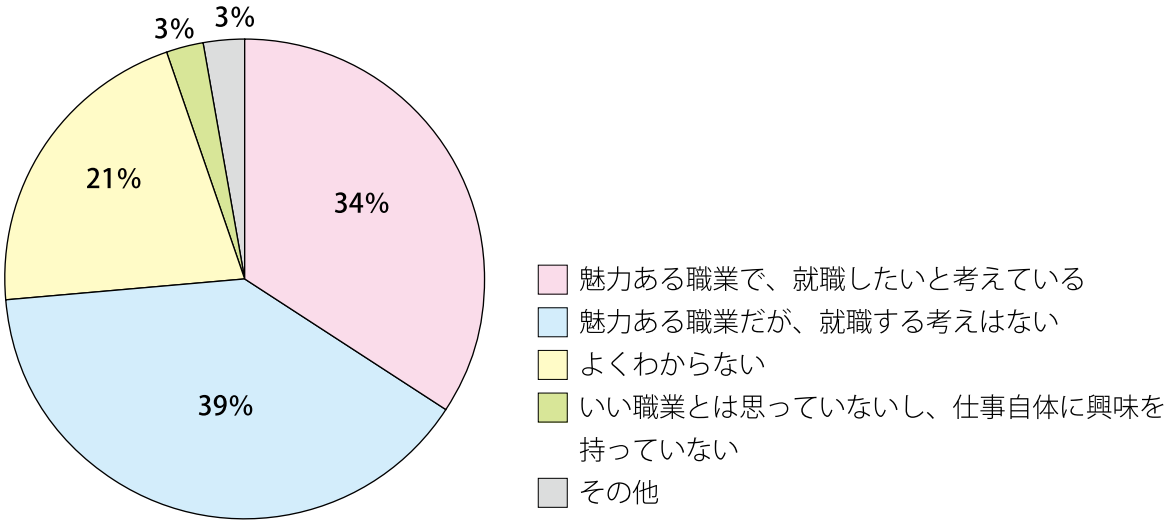
１）大学	6
２）短大	1
３）専門学校	4



＜問３＞　建設業についてあなたはどのように感じていますか

1）魅力ある職業で、就職したいと考えている	13
2）魅力ある職業だが、就職する考えはない	15
3）よくわからない	8
4）いい職業とは思っていないし、仕事自体に興味を持っていない	1
5）その他	1

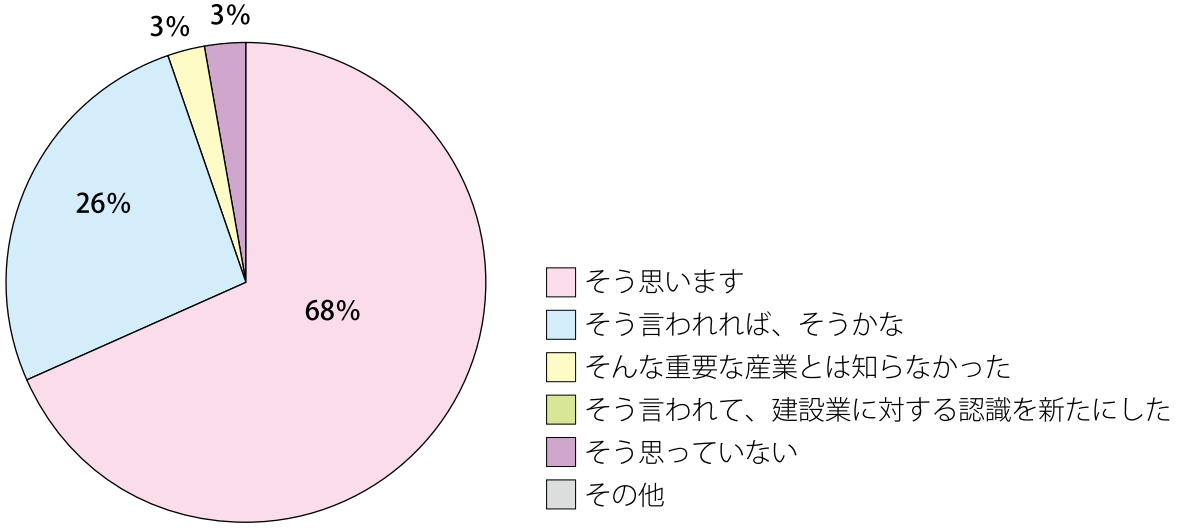
その他の理由



＜問４＞　建設業は国の基幹産業であり、経済発展に重要な役割を果たしていると思いますか

1）そう思います	26
2）そう言われれば、そうかな	10
3）そんな重要な産業とは知らなかった	1
4）そう言われて、建設業に対する認識を新たにした	0
5）そう思っていない	1
6）その他	0

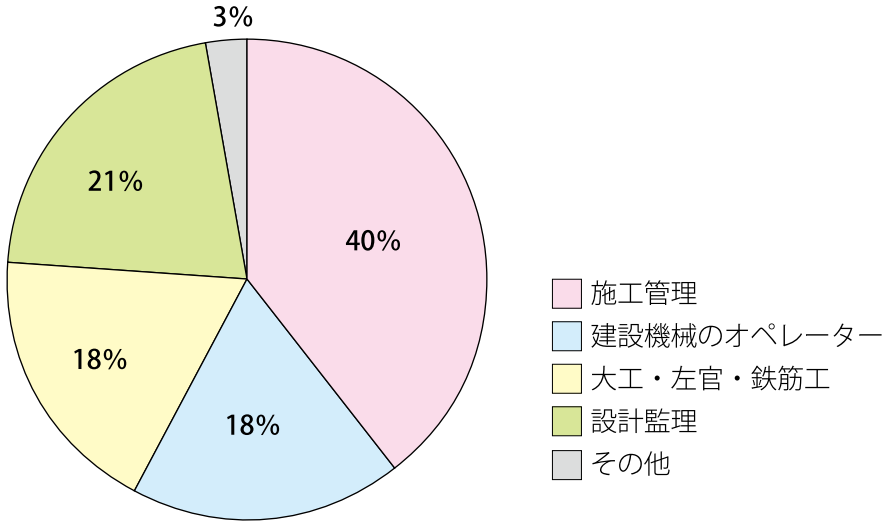
その他の理由



＜問５＞　建設会社にもし就職したら、どんな職種に進みたいですか

１）施工管理	15
２）建設機械のオペレーター	7
３）大工・左官・鉄筋工	7
４）設計監理	8
５）その他	1

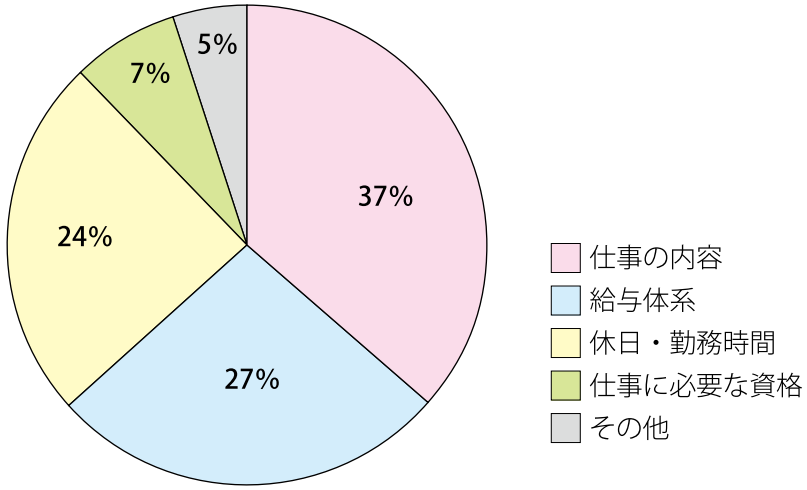
その他の希望



＜問６＞　建設会社にもし就職したら会社のどのような情報を知りたいですか

１）仕事の内容	15
２）給与体系	11
３）休日・勤務時間	10
４）仕事に必要な資格	3
５）その他	2

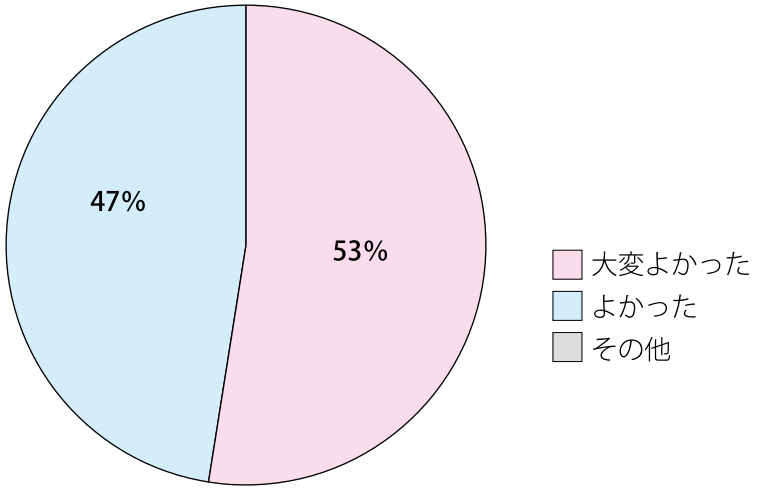
知りたい情報
※複数回答あり



<問７>　今回の実習はどうでしたか

１）大変よかった	20
２）よかった	18
３）その他	0

［　その他の意見　］



5 まとめ

一般社団法人栃木県建設業協会は、平成20年度から平成22年度まで国土交通省と文部科学省より指定を受けて栃木県教育委員会と連携のもと「建設業人材確保育成モデル事業」「地域産業の担い手育成プロジェクト」（建設分野）栃木県内建設系学科設置工業高等学校（宇都宮工業高等学校・那須清峰高等学校・真岡工業高等学校・今市工業高等学校）と研究事業を行い、数多く成果をあげるとともに多方面から評価を得ることができました。令和４年度からは小山北桜高等学校・栃木農業高等学校が追加されて、６校で実施しました。

その成果並びに、一般社団法人栃木県建設業協会が「県民の建設業への期待関心度」の向上を図るべく実施したアンケート結果を踏まえ、当協会としても「若年者建設業担い手育成事業」を今後も実施いたします。

最後になりましたが、本事業実施にあたり、栃木県および東日本建設業保証株式会社より助成金等をいただいたことを報告いたします。

令和４年度

若年者建設業担い手育成支援事業
報　告　書